物流・ロジスティクスにおける

人材育成支援ガイド 2020

― 人材育成は、企業の盛衰を決める最大の経営戦略 ―

公益社団法人
日本ロジスティクス システム協会
JAPAN INSTITUTE OF LOGISTICS SYSTEMS

目　次

◆日本ロジスティクスシステム協会は、人材育成のお手伝いをします …… 3

◆人材育成支援のヒント …… 4～17
領域区分…… 4～5
人材育成の進め方…… 6～7
人材育成モデルイメージ…… 8～13
SCM（サプライチェーンマネジメント）プログラム …… 14
グローバル人材育成プログラム…… 15
物流現場改善活動に取り組もう！…… 16
ビジネス・キャリア検定試験・ロジスティクス分野（ロジ検定）…… 17

◆日本ロジスティクスシステム協会の資格制度・コース…… 18～25
ロジスティクス経営士資格認定講座…… 20
物流技術管理士資格認定講座…… 21
物流技術管理士補資格認定コース…… 22
ロジスティクス基礎講座…… 22
国際物流管理士資格認定講座…… 23
物流現場改善士資格認定講座…… 24
ストラテジックSCM コース …… 25

◆セミナー …… 26～37
2019年度開催予定セミナー 一覧…… 26～27
セミナーMAP …… 28
各種セミナーのご案内…… 29～37

◆物流教育DVD …… 37

◆社内教育・コンサルティング・通信教育 …… 38

◆人材育成のための支援ツール（手引書・診断ツール）…… 39

◆企業事例から学ぶ …… 40～43
先進事例から学ぶ（講演会・研究会など）…… 40～41
国際物流総合展2021　LOGIS-TECH-TOKYO 2021 …… 41
物流改善事例から学ぶ（改善事例発表会など）…… 42
物流施設を見学して学ぶ…… 42～43

◆最新の調査結果より学ぶ …… 43

◆入会のご案内…… 43

◆パンフレット送付依頼フォーム…… 44

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会は 人材育成のお手伝いをします

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（JILS）は、ロジスティクスのナショナルセンター（国内唯一のロジスティクス専門機関）として、 企業の生産性向上に寄与するとともに、多くの企業の連携・協働によって社会共有価値を創出し、持続可能な発展を目指します!!

JILSのミッション	ロジスティクスの高度化と普及推進を通じた、わが国産業界の発展と国民生活の向上、国際社会への貢献
JILSの活動領域	○ロジスティクスに関する調査・研究　○ロジスティクスシステムの普及・提言活動 ○体系的な人材教育の実施　○海外関係機関との情報交流　など

産業界が抱えるさまざまな課題

ロジスティクス高度化へのステップ

1 物流レベルでの対応
ロジスティクス・物流部門における業務改善

2 ロジスティクスレベルでの対応
調達・企画設計・生産・販売部門等との連携による取り組み

3 サプライチェーンレベルでの対応
原材料の調達先から最終顧客まで含めた連携による取り組み

企業価値向上のためのJILSが提供する課題解決の場

会員メンバーとの情報交流、ヒューマンネットワークの構築
テーマ別／業界別研究会
・食品ロジスティクス研究会　・ロジスティクスシステム研究会　・物流子会社懇話会　など

経営戦略や最新のロジスティクス高度化事例などの情報収集
講演会
・ロジスティクス全国大会　・ロジスティクス関西大会
・中部ロジスティクス講演会　・九州ロジスティクス講演会　など

調査結果やデータベースの活用による自社課題の分析・把握
調査／研究
・物流コスト調査　・ロジスティクス経営指標調査　など

ロジスティクスの専門知識やマネジメント技術の習得
資格認定講座／テーマ別セミナー
・物流技術管理士資格認定講座　・ロジスティクス経営士資格認定講座　など

経営の効率化に向けたロジスティクス改革の推進
企業別研修／コンサルティング
≪企業の個別ニーズに対応したオーダーメイドの教育プログラム≫

優れたロジスティクス活動の顕彰
表彰制度
・ロジスティクス大賞　・物流合理化賞

ロジスティクスに関する最新の機器・システム・サービス等を広く産業界にPR
展示会事業
・国際物流総合展　・ロジスティクスソリューションフェア

ロジスティクスの課題解決に向け、JILSが提案する7つの指針

01 ロジスティクスの統合管理による全体最適化・競争力強化
調達物流、需給管理、製品・包装設計などを含めた連携・統合により全体最適化を実施し、ロジスティクススペシャリストの育成や、物流コスト・KPI管理などの経営情報の整備を行います。

02 サプライチェーン効率化のための企業間連携の促進
販売、需要、在庫、物流ステータスなどの情報共有と取引条件の合理化によりサプライチェーンの効率化を図ります。

03 サプライチェーンのグローバル化への対応
管理組織の国内・海外一体管理への転換、人材グローバル化等の、ロジスティクスマネジメントのグローバル化を推進いたします。

04 国内物流量減少等の社会構造変化への対応
「量から質へ」の転換や高付加価値サービスの提供、企業間連携による効率化など、持続可能な社会の発展を目指します。

05 情報化社会への対応
情報システム、自動認識技術の活用や最適化により、情報環境の変化に対応した物流サービスや物流システムの活用を行います。

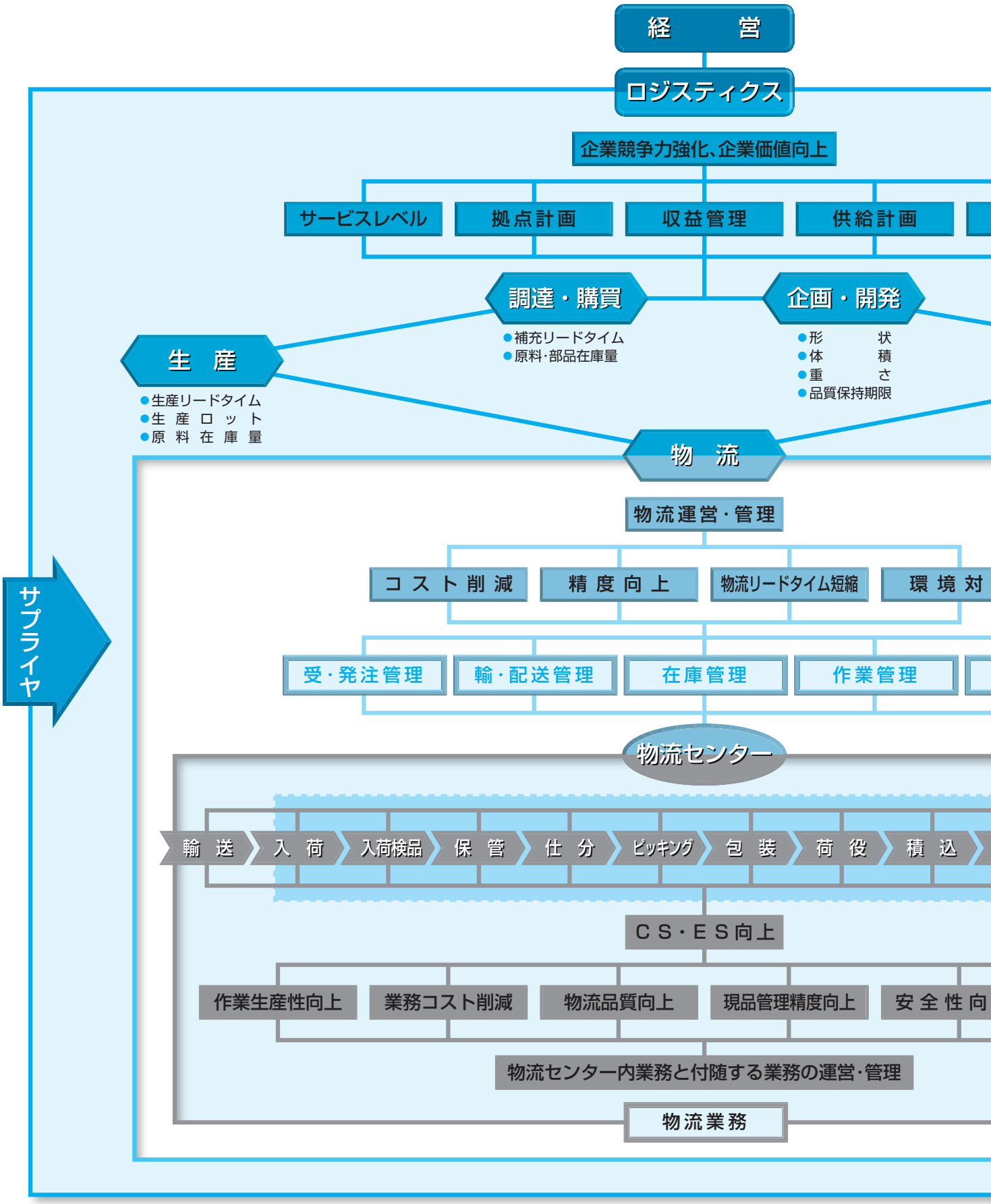
06 リスクマネジメントへの対応
自然災害、テロ、犯罪等のリスクに対し、企業連携、調達分散、官民協力などによって対応します。

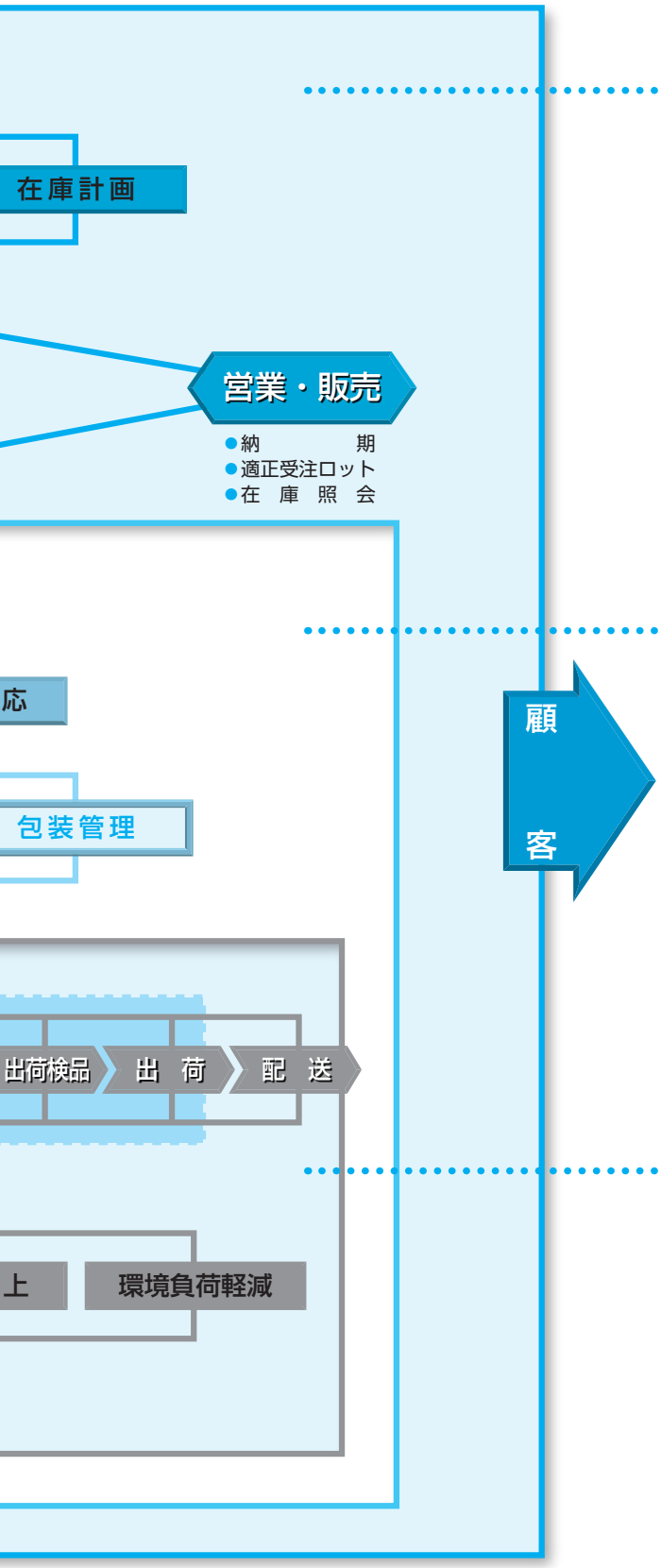
07 環境問題・CSR等への対応
省エネ対策、環境負荷軽減、法令順守、在庫等会計情報の正確性・トレーサビリティ確保などを支援します。

領域区分

「ロジスティクス」「物流」「物流業務」の３領域に区分して、「ロジスティクス」を構成する１つの業務を「物流」とし、「物流」のなかで物流センター内業務と付随する業務を「物流業務」としています。

「物流現場改善推進のための手引書（改訂版）」では「物流業務」の改善を「物流現場改善」と位置づけています。





【領域の区分】

ロジスティクス	
対象範囲	企画・開発、生産、物流、営業、販売を統合した範囲が対象
対象業務	企画・開発、調達・購買、生産、物流、営業・販売
関係部門	部門横断的（協力会社連携）
役　　割	サービスレベル、拠点計画、収益管理、供給計画、在庫計画　など

物　　流	
対象範囲	複数の物流業務および工程を統合した範囲が対象
対象業務	受・発注管理、輸・配送管理、在庫管理、作業管理、包装管理
関係部門	物流部門
役　　割	コスト削減、精度向上、物流リードタイム短縮、環境対応　など

物流業務	
対象範囲	ひとつの作業所（現場）で完結する、小集団が対象
対象業務	輸送、入荷、検品、保管、仕分、ピッキング、包装、荷役、積付、出荷、配送
関係部門	物流センター
役　　割	作業生産性向上、業務コスト削減、物流品質向上、現品管理精度向上、安全性向上、環境負荷軽減　など

人材育成の進め方　～人材育成・教育訓練を始めよう！続け

アプローチ・実施手順

1 ステップ1 組織の現状把握

現状把握

- 実施しようとする従業員の人材育成が、自社の経営理念、経営戦略、人材育成計画と連動しているかを確認することが大切です。
- 「現状把握の仕方がわからない」、「業務が忙しくて把握する時間がない」、「詳細には把握できていないがレベル感は把握している」等という企業も多いと思われますが、従業員の能力の「見える化」は大切です。
- 自社に合った方法で、現状把握を行ってください。

＜現状把握方法＞
① 評価シートの作成・活用
② アンケートの実施
③ 社員面接の実施
④ 社内試験を実施
⑤ 社外の試験の活用
⑥ 日常業務の観察
⑦ 個人・職場の業績（経済的効果）
⑧ 外部機関へ依頼

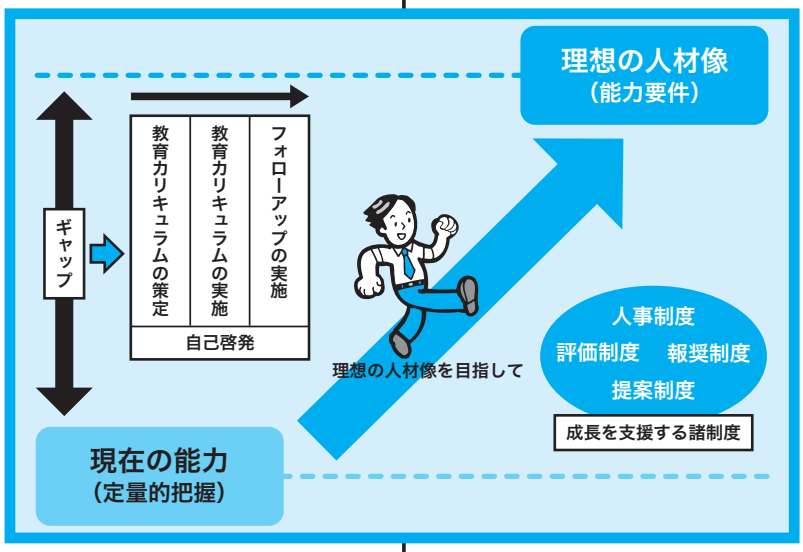
2 ステップ2 「理想の人材像」の策定とギャップの把握

理想の人材像・能力要件の策定

- 「理想の人材像（目標レベル）」を、①企業理念や経営戦略に連動した形で設定、もしくは、②従業員の現況の能力を把握し、不足している能力を補えた状態を目標レベルとして設定してください。
- 理想の人材像の「能力要件」「能力要件定義書」を策定してください。

ギャップの把握

- 従業員の現況の能力レベルを把握し、能力要件(目標レベル)を策定すると、その能力レベルに差（ギャップ）が存在することが見えてきます。
- この差が教育課題となります。この差が生じている原因を究明することが重要になります。



3 ステップ3 教育カリキュラムの策定

必要な知識・スキルの整理

- 能力要件に基づき、領域別（業務・階層等）に求められる知識やスキルを整理し、体系化してください。

カリキュラムの策定

- 従業員の現状の能力と、能力要件(目標レベル)とを比較することにより導き出される知識や技法などを整理し、これらの習得に必要な教育カリキュラムを策定します。

＜カリキュラム策定のポイント＞
① 日常業務の観察、アンケートの実施、従業員面接等による必要な知識や技法の発見
② 外部機関が実施しているセミナーや研修メニューを参照
③ 外部機関へ依頼

教育訓練方法の選択

- 教育訓練方法には、主にOJT(On the Job Training)と、Off-JT(Off the Job Training)があります。実施する際のメリット・デメリットを考慮し、使い分けて実施してください。

本支援ガイドに記載されてい
のメニューを組み合わせてご

よう！～

4 ステップ4 教育カリキュラムの実施

OJT 実施のポイント

- 日常業務の中でOJTが効率的に行われるためには、環境を整備する必要があります。

＜実施時のポイント＞

① 基本的方針（目的・目標）や、OJT の考え方を周知させる。
② 実施手順を周知させる。
③ 指導にあたる社員（指導者）への教育訓練を実施する。
④ 円滑に実施できるよう、ツール整備（例：マニュアル作成）を行う。

Off-JT 実施のポイント

- 教育訓練には様々な方法（集合研修、通信教育、e-ラーニング等）があり、それぞれの特徴（メリット・デメリット）を理解し、組合せながら効果を最大限にすることが重要です。
- 自社内に社内講師がいない場合は、外部の教育機関や外部講師を活用してください。

＜実施時のポイント＞

① 参加者の動機づけや、参加者が実施前に準備ができるように、事前に開催通知や呼びかけを行う。
② 予算面の制約を考慮しながら、時間的、空間的、環境的要素を配慮し、教育研修の効果が期待できる研修施設を選定する。
③ 研修施設担当者や講師との打合せを密に行う。
④ テキストや教材を準備する。
⑤ 備品（プロジェクター、ホワイトボード等）を準備する。

る、資格認定講座、セミナーなど活用ください。

5 ステップ5 教育カリキュラムの評価とフォローアップ

評価

- 教育訓練の後に理解度や目標達成度等について評価する必要があります。
- 教育訓練を実施した直後に、その効果が現れることは期待できません。そのため、教育訓練終了後、ある一定期間を経過してから事後評価を実施してください。
- 事後評価の指標としては、「理解度」、「実践度」、「貢献度」等が考えられます。

＜事後評価方法＞

① 評価シートの作成・活用
② アンケートの実施
③ 社員面接の実施
④ 社内試験を実施
⑤ 社外の試験の活用
⑥ 日常業務の観察
⑦ 個人・職場の業績（経済的効果）
⑧ 外部機関へ依頼

教育カリキュラム等の見直し

- 社員の能力評価だけではなく、教育カリキュラム、講師、教材等についても評価や見直しを行ってください。

フォローアップの実施

- 従業員が教育訓練の内容を十分に理解し、それを業務で活かすことができているのかを、一度振り返って再確認する必要があります。

6 ステップ6 従業員の成長を支援する体制整備

教育訓練の継続的実施

- 教育訓練を通じて、社員の「やる気」を喚起させ、日々の成長を実感できるようにすることが大切です。また、社員の成長とともに、目標レベルが上がり、新たな課題が発生します。
- そのため「教育予算」を継続的に確保し、教育訓練を実施することよって解決する必要があります。

諸制度の構築

- 従業員を継続的に支援するための諸制度を構築することが重要になります。これにより社内・職場が活性化され、社員のモチベーション向上が図られます。さらには、企業全体に教育する風土が構築されることにも繋がります。

＜例＞

① 自己啓発への援助制度の構築
② 評価制度、表彰制度・昇給・昇格制度、提案制度等の構築 等

教育部門・教育スタッフの配置

- 教育訓練が継続的、効果的に行われるために、教育部門・教育スタッフを配置することが重要です。専属の部門やスタッフを配置することが困難な場合は、定期的に人材育成や教育訓練について検討を行う機会を設けてください。

ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ⇒主要領域

人材育成モデルイメージ（荷主企業向け）

階層区分＼到達ﾚﾍﾞﾙ	基礎	実践	応用
経営幹部（経営者・役員）		財務諸表を分析し、自社の課題を発見することが出来る	リスクを想定した拠点の最適化、資産戦略、ネットワークの企画・立案が出来る
		ロジスティクス経営士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ／物流機能／CSR／組織・人材	
中間管理職（部長・課長）	適切な管理指標を設定し、サービスレベルの設定、委託先・外注先の業務指導が出来る	部門間の調整を行い、在庫の適正化、トータルコストの低減化が出来る	社内外のニーズに対応した物流システム、共同物流の企画・立案が出来る
		物流技術管理士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ／物流機能／CSR	
	ストラテジックSCMコース：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／CSR		
	国際物流管理士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／物流機能／CSR／組織・人材		
	物流現場改善士資格認定講座：ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／物流機能		
中堅（係長・主任）	コスト構造を理解し、物流・ロジスティクスの適切な業務管理が出来る	委託先、外注先の業務を理解し、適切な業務管理が出来る	物流ABC等の手法による業務改善、委託先との協働化を推進出来る
	物流の各機能、物流機器、情報システムの知識を有し適切な運営管理が出来る	必要な分析手法を有し、コスト分析、適正在庫の算出が出来る	実効性のある改善企画を立案し、物流センターの管理、運営が出来る
	ストラテジックSCMコース：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／CSR		
	国際物流管理士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／物流機能／CSR／組織・人材		
	物流現場改善士資格認定講座：ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／物流機能		
	物流技術管理士補資格認定コース：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／物流機能		
新任・新人	物流・ロジスティクスの関連法規、基礎知識を有し、自社物流の基本的な運用が出来る	自社業務の運用における課題の抽出まで出来る	
	ロジスティクス基礎講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／物流機能		
	国際物流管理士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／物流機能／CSR／組織・人材		※貴社の目指すべき人材育成を達成するためにJILSの各種講座やセミナー等をご活用ください

ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ⇒主要領域

人材育成モデルイメージ（物流企業向け）

階層区分＼到達ﾚﾍﾞﾙ	基礎	実践	応用
経営幹部（経営者・役員）		財務諸表を分析し、自社の課題を発見することが出来る →	リスクを想定した拠点の最適化、資産戦略、ネットワークの企画・立案が出来る
		ロジスティクス経営士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ／物流機能／CSR／組織・人材	
中間管理職（部長・課長）	適切な管理指標を設定し、サービスレベルの設定、委託先・外注先の業務指導が出来る →	顧客との調整を行い、在庫（現品管理）の適正化、トータルコストの低減化が出来る →	顧客のニーズに対応した物流システム、共同物流の企画・立案が出来る
		物流技術管理士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／ﾊﾟｰﾄﾅｰｼｯﾌﾟ／物流機能／CSR	
	ストラテジックSCMコース：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／CSR		
	国際物流管理士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／物流機能／CSR／組織・人材		
	物流現場改善士資格認定講座：ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／物流機能		
中堅（係長・主任）	コスト構造を理解し、物流・ロジスティクスの適切な業務管理が出来る →	顧客委託業務に係る外注先の業務を理解し、適切な業務管理が出来る →	物流ABC等の手法による業務改善、顧客との協働化を推進出来る
	物流の各機能、物流機器、情報システムの知識を有し適切な運営管理が出来る →	必要な分析手法を有し、コスト分析、物流KPIによる業務評価が出来る →	実効性のある改善企画を立案し、物流センターの管理、運営が出来る
	ストラテジックSCMコース：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／CSR		
	国際物流管理士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／物流機能／CSR／組織・人材		
	物流現場改善士資格認定講座：ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／物流機能		
	物流技術管理士補資格認定コース：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／物流機能		
新任・新人	物流・ロジスティクスの関連法規、基礎知識を有し、顧客物流の基本的な運用が出来る →	顧客からの受託業務運用における課題の抽出まで出来る	
	ロジスティクス基礎講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／物流機能		
	国際物流管理士資格認定講座：ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ／ﾛｼﾞｽﾃｨｸｽ／ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ／物流機能／CSR／組織・人材		※貴社の目指すべき人材育成を達成するためにJILSの各種講座やセミナー等をご活用ください

荷主企業

物流・ロジスティクス・サプライチェーンマネジメントに関する「業務を遂行するために習得すべき主な知識・技術」の一例を示しております。
貴社にとって必要なテーマ、習得が望ましいと思われる知識・技術についてご確認いただき、人材育成・教育にお役立てください。

階層区分	役割	サプライチェーン	ロジスティクス	グローバル
経営幹部（経営者・役員）	● 経営計画の立案・承認 ● 需要に応じて、調達・生産・販売・物流や回収・廃棄等の活動を同期化させる仕組みを構築する（他部門との連携強化）。 ● 流通在庫の最少化を図る。 ● 戦略的パートナーの選定と連携 ● SCM やロジスティクス戦略の立案能力 ● SCM の評価 ● 新任の経営幹部に必要な知識や能力の修得	・資産戦略（在庫、アセット等） ・商品政策/商品化計画 ・経営指標［ROA *1・CCC *2 等］管理 ・収支損益管理 ・S&OP（*3）	・ロジスティクスネットワーク設計/構築 ・荷主間連携 ・サービス戦略 ・拠点の最適化（統廃合/新設）	・グローバルサプライチェーン戦略 ・グローバルネットワーク設計/構築 ・グローバルパートナー選定 ・海外拠点運営戦略（組織体制構築）
中間管理職（部長課長）	● 経営の視点を常に意識して考える。 ● 顧客の注文に応えられるサービスレベルに適した物流システムの構築（拠点設置等）を行う。 ● 部門間の調整を行い、適正在庫の設定・維持管理を行う。 ● 売上高対物流コスト比率の最少化を図る。	・在庫管理（応用） ・在庫管理システム構築 ・供給計画（応用）（PSI *4） ・需要計画/予測 ・SWOT(*5)分析 ・外部環境分析（ミクロ、マクロ） ・AI・IoT ・ブロックチェーン	・共同物流構築 ・物流センター企画・設計 ・物流情報システム企画・設計 ・トータル物流コスト改善 ・ロジスティクス KPI 設計 ・サービスレベル設定 ・最適化手法（OR*7） ・物流コスト管理（応用）	・現地物流/ビジネス環境分析 ・現地委託先管理 ・関連法規 ・現法人材マネジメント ・グローバル 3PL
中堅（係長）	● 物流・ロジスティクスに関する専門知識や管理技術を有し、コスト適正化や効率化に向けた施策の立案及び推進をする。 ● 物流・ロジスティクスに関する定量的な指標を用いて物流業務を管理する。	・在庫管理（実践） ・供給計画(実践)（PSI *4） ・在庫管理システム ・TOC（*6） ・AI・IoT	・機能別物流コスト改善 ・物流ABC(*8) / ABM(*9) ・改善手法（応用） ・業務標準化 ・物流センター管理（保管・荷役コスト・品質） ・物流コスト管理（実践） ・RPA	・輸出入業務改善 ・輸出入業務（応用） ・リスクマネジメント ・BCP（*10）
中堅（主任）	● 物流業務に関する管理手法を有し、適切な現場運営管理を行う。 ● 物流現場改善に関する分析手法、改善技法を有し、実効性のある現場改善策を企画する。 ● 問題点や改善効果を定量的に捉え、関係者の理解や協力を得ながら、改善を実行する。	・在庫管理（基礎） ・供給計画(基礎)（PSI *4） ・受発注システム	・改善手法（基礎） ・物流センターの運営/管理（人時生産性・スペース効率） ・物流コスト管理（基礎） ・サービスレベル分析 ・物流情報システム（概要）	・輸出入業務（実践） ・貿易貨物保険
新任・新人	● 物流、ロジスティクスに係る用語を適切に理解する。 ● 物流、ロジスティクスの基礎知識を有し、ロジスティクス全体の中で、担当業務の役割等を理解する。 ● 問題点や改善効果を定量的に捉えられる。	・サプライチェーン概論	・ロジスティクス・物流概論 ・物流センター基本機能 ・製品/商品特性 ・物流業界基礎知識 ・受発注業務	・輸出入業務（基礎） ・輸送システム（海上、航空等）

パートナーシップ	物流機能	CSR(*19)	組織・人材	用語
・戦略(社内・社外) ・戦略的 3PL ・荷主連携		・CSR(*19)経営 ・コンプライアンス経営 ・環境政策	・人材採用・育成計画 ・組織設計	1:Return On Asset 2:Cash Conversion Cycle 3:Sales and Operations Planning 4:Procurement/ Production Sales Inventory 5:Strength Weakness Opportunity Threat 6:Theory of Constraints 7:Operations Research 8:Activity Based Costing 9:Activity Based Management 10:Business Continuity Plan 11:Request For Proposal 12:Value Analysis 13:Value Engineering 14:Warehouse Management System 15:Transportation Management System 16:Industrial Engineering 17:Quality Control 18:Quality Cost Delivery Safety Morale 19:Corporate Social Responsibility 20: Robotic Process Automation
・委託先選定(RFP *11 作成) ・契約条件設定 ・委託先業務管理 ・委託先管理指標設定 ・CPS	・自動化企画・設計 ・モーダルシフト企画・設計 ・ユニットロードシステム企画・設計 ・包装設計(VA*12/VE*13)と包装技法 ・WMS(*14)企画、選定 ・TMS(*15)企画、選定 ・マテハン企画、選定	・BCP(*10)対策の立案 ・リスクマネジメント(実践/応用) ・コーポレートガバナンス ・内部監査 ・内部統制 ・コンプライアンス ・関連法規(収集/教育)	・組織・人材の能力開発 ・労働力不足対応 ・人材採用、育成計画立案 ・組織、人事マネジメント ・コーチング/チームビルディング ・RPA(*20)	
・委託先との協働化推進 ・委託先業務指導 ・プラットフォーム	・改善手法(応用)(VA*12/VE*13) ・分析手法(応用) ・管理手法(実践・応用) ・標準時間設定 ・デジタルデータの解析・評価	・法令順守管理手法 ・リスクマネジメント(基礎) ・環境負荷低減	・人材育成 ・労務管理	
・委託先管理(調整・探索など)	・改善手法(実践)(IE *16、QC *17) ・分析手法(実践) ・管理手法(基礎)(QCDSM*18) ・IoT(コト・モノの見える化・デジタル化)	・法令順守運用手順 ・各種保険 ・安全管理	・課題解決(実践/応用)	
・委託先対応 ・委託契約方式	・改善手法(基礎) ・分析手法(基礎) ・業務知識[荷役、輸配送、包装/梱包] ・5S ・マテハン	・関連法規(基礎) ・リスクマネジメント(概論) ・環境概論	・課題解決(基礎)	

物流企業

物流・ロジスティクス・サプライチェーンマネジメントに関する「業務を遂行するために習得すべき主な知識・技術」の一例を示しております。
貴社にとって必要なテーマ、習得が望ましいと思われる知識・技術についてご確認いただき、人材育成・教育にお役立てください。

階層区分	役割	3PL/ ロジスティクス/サプライチェーン	パートナーシップ	グローバル
経営幹部 （経営者・役員）	● 経営計画の立案・承認。 ● 顧客の注文に応えられるサービスレベルに適した物流システムの構築（拠点設置等）を行う。 ● 自社の企業価値を高める。 ● 次経営幹部の育成 ● 経営資源（ヒト・モノ・カネ）の強化	・経営指標［ROA *1・CCC *2 等］管理 ・ロジスティクスネットワーク設計/構築 ・SCM 改革 ・拠点の最適化（統廃合/新設） ・共同物流戦略 ・商品企画、開発	・内外作戦略 ・戦略的パートナーシップ ・荷主連携	・グローバルネットワーク設計/構築 ・海外拠点戦略（組織体制構築） ・カントリーリスク管理 ・現地法人設立
中間 管理職 （部長・課長）	● 経営の視点を常に意識して考える。 ● 課（ライン）の運営ビジョンの策定 ● 物流・ロジスティクスに関する専門知識や管理技術を有し、コスト低減や効率化に向けた施策の立案及び推進をする。 ● 物流・ロジスティクスに関する定量的な指標を用いて物流業務を管理する。	・先端 SCM 動向把握 ・事業/物流特性把握 ・物流センター立上げ ・共同物流推進 ・物流センター設計 ・物流情報システム要件設計 ・ロジスティクス KPI 設定 ・物流センター管理（保管・荷役コスト・品質） ・荷主在庫マネジメントの理解と改善 ・物流コスト管理（応用） ・AI・IoT	・委託先選定（RFP*4 作成） ・契約条件設定 ・委託先管理指標設定 ・委託元協業体制 ・CPS	・現地物流/ビジネス環境分析 ・現地委託先管理 ・関連法規 ・現法人材マネジメント
中堅 （係長）	● 物流業務に関する管理手法を有し、適切な現場運営管理を行う。 ● リーダーの大切さ（なぜ、リーダーが必要なのか？）	・改善手法（実践/応用） ・物流コスト管理（実践） ・生産管理（実践/応用） ・TOC（*3） ・AI・IoT	・委託元管理（調整・連携など） ・委託先業務管理・指導 ・プラットフォーム	・現法収支管理 ・輸出入業務（応用）
中堅 （主任）	● 物流現場改善に関する分析手法、改善技法を有し、実効性のある現場改善策を企画する。 ● 問題点や改善効果を定量的に捉え、関係者の理解や協力を得ながら、改善を実行する。	・改善手法（基礎） ・物流センターの運営、管理（人時生産性・スペース効率） ・物流コスト管理（基礎） ・在庫管理（実棚管理） ・物流情報システム（概要） ・生産管理（基礎）	・委託先業務連携/コミュニケーション ・契約交渉	・輸出入業務（実践） ・貿易貨物保険
新任・新人	● 物流、ロジスティクスに係る用語を適切に理解する。 ● 物流、ロジスティクスの基礎知識を有し、ロジスティクス全体の中で、担当業務の役割等を理解する。	・SC/ロジスティクス/物流概論 ・物流センター基礎知識 ・物流業界知識 ・物流コスト（基礎） ・自社商品特性理解	・顧客対応 ・委託先対応 ・委託契約方式	・グローバルロジスティクス（概論） ・輸出入業務（基礎） ・輸送システム（陸上、海上、航空）

物流機能	CSR(*12)	営業	組織・人材	用語
・資産戦略(拠点、車輌等) ・自社ネットワークの構築	・CSR(*12)経営 ・コーポレートガバナンス ・コンプライアンス経営 ・環境政策 ・BCP(*13)対策立案	・マーケティング戦略 ・異業種交流 ・提案営業の仕掛けづくり・展開	・人材採用・育成方針設計 ・組織設計 ・ダイバーシティ経営	1:Return On Asset 2:Cash Conversion Cycle 3:Theory of Constraints 4:Request For Proposal 5:Value Analysis 6:Value Engineering 7:Warehouse Management System 8:Transportation Management System 9:Industrial Engineering 10:Quality Control 11:Quality Cost Delivery Safety Morale 12:Corporate Social Responsibility 13:Business Continuity Plan 14: Robotic Process Automation
・自動化企画・設計 ・モーダルシフト企画・設計 ・ユニットロードシステム企画・設計 ・包装設計(VA*5/VE*6)と包装技法 ・WMS(*7)企画、選定 ・TMS(*8)企画、選定 ・マテハン企画、選定	・法令順守の管理方法 ・物流政策のキャッチアップ ・関連法規(収集/教育)	・事業特性分析(荷主企業の業界/組織特性等) ・営業先探索 ・売上目標管理 ・財務諸表/経営指標 ・営業計画の立案、実行 ・営業所マネジメント	・組織・人材の能力開発 ・労働力不足対応 ・人材育成・改善 ・組織、人事マネジメント ・コーチング/チームビルディング ・現場リーダー育成手法 ・コミュニケーション手法 ・メンタルヘルスマネジメント ・RPA(*14)	
・改善手法(応用)(VA*5/VE*6) ・分析手法(応用) ・管理手法(実践・応用) ・標準時間設定 デジタル ・見積単価設定 ・荷役稼動管理	・環境指標(Co2 等)算出手法 ・非正規社員雇用関連法令 ・ISO 認証取得	・新規顧客開拓 ・提案営業(実践/応用)	・労務管理 ・チームリーダー育成 ・非正規社員雇用管理	
・改善手法(実践)(IE *9、QC *10) ・分析手法(実践) ・管理手法(基礎) IoT(QCDSM*11) ・棚卸業務管理 ・配車管理 ・運行管理	・法令遵守運用手順 ・安全管理 ・関連法規(実践) ・各種保険 ・環境概論	・提案営業(基礎) ・物流営業(実践・応用) ・見積書作成	・チームビルディング ・課題解決(実践/応用)	
・改善手法(基礎) ・分析手法(基礎) ・業務知識[荷役、輸配送、包装/梱包] ・5S ・マテハン	・安全対策手順 ・リスクマネジメント(概論) ・関連法規(基礎)	・物流営業(基礎) ・契約方式	・課題解決(基礎)	

SCM（サプライチェーンマネジメント）プログラム

人材育成（コース・セミナー）

●ストラテジックSCMコース

◆ 戦略的な視点から経営科学的はアプローチを含めた最新のSCMを学ぶコースです。
◆ グループ演習で日本のSCMの問題構造を明らかにし解決策を検討します。

2020年度開催予定　：第21期　2020年 4月 ― 2020年 9月
　　第22期　2020年10月 ― 2021年 3月
※毎週金曜日19時～21時(2時間)　全21日間

●SCM関連セミナー

SCM基礎セミナー	需要予測の基本	梱包・包装最適化による物流コスト削減実践セミナー	S&OP(Sales and Operations Planning)セミナー
• SCMの基本的な考え方からSCM改革の進め方までを幅広く学習し、事例を交えた実践的な研修です。	• 商品の在庫切れや在庫余り抑制のカギを握る需要予測を講義やグループワークを通じて学びます。	• 物流と梱包・包装の関係からＤＦＬ推進のためのステップまで、講義と演習を通じて学びます。	• 迅速な意思決定を可能にするS&OPの役割と仕組みについて学びます。

●その他

JAVADAのビジネス･キャリア検定の活用	• 戦略的SCMの構築の課題のひとつに「部門間連携」があります。他部門の管理の基礎を学ぶことが連携強化の第一歩です。 • 詳細は中央職業能力開発協会ホームページをご参照ください。 http://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/bunya.html
APICSのSCM資格認定 公益財団法人日本生産性本部ホームページ http://apics.jp/	■CPIM　(Certified in Production and Inventory Management) 生産管理や在庫管理におけるプロフェッショナルな能力の基準として世界的に認知されており10万人以上が同資格の認定を受けています。 ■CSCP　(Certified Supply Chain Professional) SCMの戦略設計、導入、管理運営に関する主要な概念、それらを合理化や効率の改善のために組織に適用する知識を持っていることを認定する資格です。グローバルなサプライチェーンを意識して作られており、2万人以上が認定を受けています。 ■CLTD　(Certified in Logistics, Transportation, and Distribution) グローバルロジスティクスと輸配送を中心とする知識や評価できる能力を持っていることを認定する資格です。 ■SCOR-Professional　(Supply Chain Operations Reference-Professional) SCORモデルを用いてグローバルサプライチェーンのパフォーマンスを評価しマネジメントする能力を有することの資格保証（Endorsement）です。
CSCMPのSCM資格認定 https://cscmp.org/	■SCPro™ Certification SCPro™認定は、統合されたサプライチェーン活動における知識とスキルを評価する3段階プログラムです。ケーススタディ分析とROI向上を達成するための包括的なプロジェクト計画の策定等を通じて、ビジネスチャレンジを戦略的に評価し、サプライチェーンの改善を効果的に実施する能力を検証します。

研究会

◆ 参加者相互に情報交流、意見交換出来る場を設け、課題解決のヒントを共有すること及びヒューマン・ネットワークを構築することを目的として開催します。
◆ 参加者相互の活発な意見交流の場とすることがねらいとし、参加者全員が情報の“GIVE AND TAKE”の姿勢で臨んでいただくことを基本とします。

●荷主ミーティング

◆ 荷主企業を対象として、各テーマに関するディスカッション、検討結果やメンバー事例発表等を通じて課題解決へのヒントを共有します。

＜2020年度2月開催予定のプログラム＞

グループ別討議
　テーマ：共同物流／物流コスト／ロジスティクスKPI
　　労働力不足／その他

●SCM研究会（企画中）

◆ SCM管理者を対象として、各テーマに関するディスカッション、検討結果やメンバー事例発表等を通じて課題解決へのヒントを共有します。
◆ 開催頻度：約2ヶ月に１回　14時～17時

＜検討テーマ案＞

部門間連携の壁／企業間連携の壁／標準化／情報連携／需要予測／日系企業と外資系企業のSCMは何が違うのか／SCM人材育成・大学教育　等

グローバル人材育成プログラム

資格認定講座・セミナー

●国際物流管理士資格認定講座

◆ 国際物流のスペシャリストとして必要な専門知識を総合的、体系的に学べる資格認定講座です。

●新任担当者のための国際物流基礎セミナー

◆ 初めて国際物流に携わる方々を対象に、国際物流の基礎を体系的に学びます。

研究会

●グローバルロジスティクス研究会

◆ グローバルロジスティクスの管理者や担当者が相互に情報交流、意見交換出来る場を設け、課題解決のヒントを共有すること及びヒューマン・ネットワークの構築することを目的とします。
◆ 開催頻度：約2ヶ月に１回　14時～17時
◆ 毎回、会合終了時に次回の日程、テーマを決定します。
◆ クローズド制のラウンドテーブル方式。
◆ 参加者相互の活発な意見交流の場とすることがねらいとし、参加者全員が情報の"GIVE AND TAKE"の姿勢で臨んでいただくことを基本とします。
◆ 適宜、懇親と交流の場を設けます。

ASEANにおける物流人材育成　【資格認定講座】

●タイ　ロジスティクス管理士資格認定講座

１）講座名称　：　Logistics Qualification System Program　(LQSP PLUS)
　　Certified Logistics Professional Course
２）開催予定　：2020年9月　ー　2020年11月
３）開催地　：タイ・バンコク
４）言語　：タイ語
※詳細はタイ荷主協議会(TNSC)のホームページをご参照ください。
http://www.tnsc.com/site/index

●ベトナム　ロジスティクス基礎資格認定講座

1）講座名称　：　Certified Logistics Course – Primary　(CLC-P)
2）受講対象者　：　物流業務に携わる課長･係長クラス、物流現場リーダークラス
3）プログラム　：　①ロジスティクス概論、②輸配送、③包装、④保管･荷役、⑤在庫管理
（全6日間）　⑥ロジスティクスコスト、⑦物流情報システム、⑧物流改善、
⑨総合演習(物流改善演習)
4）開催地　：　ベトナム(ハノイ／ホーチミン(予定))
5）講師　：　日本及びベトナムで研修を受けたベトナム人講師
6）使用言語　：　ベトナム語
※詳細は下記ホームページをご参照ください。
https://vietnamshippers.com.vn　(ベトナム荷主協会ホームページ)
https://www1.logistics.or.jp/global/　(JILSホームページ)

海外人材育成支援ツール

●物流教育DVD
【英語ナレーション付】

◆ 海外現地法人のスタッフ教育の際にお使いください。
◆ 収録時間　約25分。

①正しい荷扱いとは
②正しい現品管理とは

●物流現場改善推進のための手引書
【英語版・ベトナム語版・タイ語版】

◆ 海外現地法人において物流現場改善活動を推進する際にお使いください。

英語版
ベトナム語版
タイ語版

物流現場改善活動に取り組もう！

●日本ロジスティクスシステム協会は、各社の物流現場改善活動を活性化するための取り組みを展開しています。貴社の物流現場改善活動の活性化にお役立てください。

【特集記事】
物流現場改善のすすめ

【改善事例集】
物流現場改善事例集
（192事例をWEBで公開中）

【物流現場見学】
物流テクノロジー現地フォーラム
物流現場見学会

【改善事例発表】
全日本物流改善事例大会（東京）
物流改善事例発表会
（関西・中部・九州）

【診断プログラム】
物流現場リーダー
キャリアアップ診断
問題発見チェックリスト
現場活性サイクル
チェックリスト

【改善事例表彰】
物流合理化賞
物流合理化努力賞

【人材育成】
物流現場改善士資格認定講座
物流現場改善系セミナー

【手引書】
物流現場改善推進のための
手引書

実践・応用

物流現場改善士資格認定講座　**改善リーダーの育成**

- 物流現場改善リーダー育成のための専門講座
- グループディスカッション、演習、ケーススタディを多く取り入れ、理論・知識を実務で・活用するための実践力を身につける
- 受講者の担当職場における改善実行計画を委員の指導のもとで策定する

物流改善全般

物流現場リーダー育成セミナー
物流センターにおけるコスト管理手法や物流現場改善のスキルを学び、ケーススタディで改善実践力を鍛える
改善リーダーの育成

トヨタ式物流改善の極意セミナー
トヨタ式の物流改善手法を演習等を通じて学ぶ
物流改善全般（応用編）

物流センター改善

物流センターの管理・レイアウト設計改善セミナー
作業効率、生産性、物流品質の高い物流センターの作り方、物流センター管理のツボ、業務改善のための実践的なノウハウを学ぶ
物流センターの改善

改善手順を体得

時間測定・作業分析を体感！改善手法習得セミナー
物流現場での作業を想定し、工程分析と時間測定に基づいた作業分析の手法を習得し、改善の進め方を学ぶ
時間測定や作業分析を体得

定量的把握・データ分析力

物流現場におけるデータ分析力強化セミナー
物流現場改善に役立つExcelを活用した実践的なデータ分析手法を学ぶ
データ分析力強化

超簡単！物流IE実践セミナー
物流作業の改善、生産性向上を実現するためにIE手法を講義と演習を通じて学ぶ
物流作業標準時間設定

基礎

物流現場改善の進め方セミナー
物流現場における初歩的な管理項目や改善基礎知識、分析手法を学ぶ
物流改善全般（基礎編）

気づき・問題発見力

「問題発見」実践セミナー
「気付き・問題点の把握」に焦点を当て、「問題発見の着眼点」「問題の抽出」について、事例と演習を通じて学ぶ
問題発見力強化

ビジネス・キャリア検定試験・ロジスティクス分野（ロジ検定）

http://www.javada.or.jp/jigyou/gino/business/logi.html（「ビジキャリ」で検索）

【ビジネス・キャリア検定試験とは？】

- 中央職業能力開発協会（JAVADA）が、厚生労働省が定めた職業能力評価基準に準拠した「職務を遂行する上で必要となる専門知識の習得と実務能力の評価を行うこと」を目的として実施している試験です。「人事・人材開発・労務管理」、「経理・財務管理」、「営業・マーケティング」、「生産管理」、「企業法務・総務」、「ロジスティクス」、「経営情報システム」、「経営戦略」の８分野について、１級からBASIC級まで設定されています。※一部未実施の分野があります。
- 「ロジスティクスについては、「２・３級ロジスティクス管理」、「２・３級ロジスティクス・オペレーション」「ロジスティクスBASIC級」が実施されており、「公的資格試験」という特徴と、多くの社員に共通的な専門知識を習得させることができることから、多くの業種業態の経営者層から物流・ロジスティクスに注目が集まる中、受験者が毎年増加しています。また、2017年より「１級ロジスティクス」が開始されました。

【試験体系】

	ビジネス・キャリア検定試験（ロジスティクス分野）	JILS資格認定講座・コース	
		資格認定講座	講座・コース
役員・経営幹部・トップマネジメント		ロジスティクス経営士資格認定講座	
部門長・ディレクター	1級ロジスティクス		ストラテジックSCMコース
課長・マネージャー	2級ロジスティクス管理 2級ロジスティクス・オペレーション	物流技術管理士資格認定講座 物流現場改善士資格認定講座 国際物流管理士資格認定講座	
係長・リーダー	3級ロジスティクス管理 3級ロジスティクス・オペレーション	物流技術管理士補資格認定コース	ロジスティクス基礎講座
スタッフ			
学生等	ロジスティクスBASIC級		

ロジスティクス管理の試験範囲（概要）
「物流の概念と物流管理」
「在庫管理」
「物流システム管理」
「物流コスト管理」
「物流情報システム」

ロジスティクス・オペレーションの試験範囲（概要）
「包装・荷役・MH・保管」
「輸配送システム」
「国際輸送」
「物流センター計画」
「物流センターの管理と運営」

【試験概要】

日程　：前期試験　2020年10月　4日（１、２、３級）
　　後期試験　2021年　2月21日（２、３級、BASIC級）
　　※詳細は中央職業能力開発協会にご確認ください。

【ビジネス・キャリア検定試験の活用法（例）】

1）自己啓発として、担当職務に必要な専門知識の向上とスキル・アップに活用
2）教育研修として、社内で使用される専門知識の共通化と知識レベルの底上げに活用
3）客観的な能力評価基準として、試験結果に基づく従業員の昇進・昇格要件に活用
4）標準テキストをJILSの資格認定講座の予習用テキストとして活用
- ロジ検定では出題範囲に基づく「標準テキスト」が発刊されています。各章ごとのねらい、各節ごとの学習のポイント、学習内容の全体像や要点がわかりやすく解説されています。JILSの資格認定講座の受講前の予習用のテキストとしてお薦めします。

5）SCMの実現に向けて
- 荷主企業の物流・ロジスティクス部門がSCM改革を推進するためには、自社内の他部門（経営企画、調達、生産、営業、マーケティング、販売等）の与件、制約条件を理解しながら組織全体を鳥瞰し、全体最適の視点で戦略的なSCMプランを描き、他部門に対して提案し、交渉し、連携できる体制を構築することが求められます。そのため、「経営戦略」「生産管理」「経営情報システム」「営業・マーケティング」等の「ロジスティクス」分野以外の専門知識を習得していることが成功のポイントになります。同時に、他部門が「ロジスティクス」に関する基礎的な専門知識を習得していることも必要です。それぞれの分野の基礎的な専門知識の習得を目指す際に検定試験をご活用ください。

【専門知識を習得したら、応用力を身につけよう！】

- 中央職業能力開発協会が実施するビジネスキャリア検定「ロジスティクス管理」または「ロジスティクス・オペレーション」の2級もしくは3級の合格者かつ、企業等での実務経験を有する方が、実務での応用力を身につけるために、ＪＩＬＳの物流技術管理士補資格認定コース（旧 物流技術管理士補スクーリング）を受講できるようになりました。詳しくは、「物流技術管理士補資格認定コース」をご覧ください。

日本ロジスティクスシステム協会の資格制度

2019年10月現在の資格取得者数

専門知識を実務に応用

階層別

資格名称

417名（2002年度～）

ロジスティクス経営士

Certified Logistics Senior Master

◆経営の視点からロジスティクスを捉え、改革を推進することができるCLO（チーフ・ロジスティクス・オフィサー）

11,394名（1993年度～）

物流技術管理士

Certified Logistics Master

◆物流・ロジスティクスの専門知識や管理技術を有し、物流品質向上、物流効率化、コストダウン等を実現できるロジスティクスのプロフェッショナル

2,597名（1997年度～）

物流技術管理士補

Certified Assistant Logistics Master

◆物流・ロジスティクスに関わる基礎知識を有し、実務への応用の仕方を習得している次世代のロジスティクス・プロフェッショナル

テーマ別

1,554名（1978年度～）

国際物流管理士

International Logistics Master

◆国際物流の専門知識を有し、グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画し、実践することができる国際物流のプロフェッショナル

567名（2010年度～）

物流現場改善士

Certified Logistics Kaizen Master

◆物流現場の現状を把握し、課題を解決するために定量データをもとに改善実行計画を立案し、メンバーと協力しあいながら改善を推進することができる物流現場の改善リーダー

「ロジスティクス プロフェッショナル」育成のための資格認定講座

ロジスティクス経営士資格認定講座

講座名

受講対象
- ロジスティクス関連の実務経験が5年程度ある、部長職クラスまたは部長職候補、ならびに幹部候補の方
- 物流技術管理士または国際物流管理士の資格取得後、実務を3年以上経験した幹部候補の方

開催日数 14日間

受講料
JILS会員　：400,000円（消費税別・１名につき）
JILS会員外：500,000円（消費税別・１名につき）

プログラムの特徴 講義（全8単元）／ケーススタディ（全3回）／グループミーティング（全3回）／小テスト
論文試験　／　面接試験

2020年度開講日程 第19期（東京）
2020年10月～2021年3月

物流技術管理士資格認定講座

講座名

受講対象
- 物流に関する基本的な用語を理解している方
もしくは
- 物流技術管理士補の有資格者

開催日数 18日間

受講料
JILS会員　：450,000円（消費税別・１名につき）
JILS会員外：550,000円（消費税別・１名につき）

プログラムの特徴 講義（全13単元）／受講レポート（前期・後期）／客観試験（前期・後期）／論文試験／面接試験

2020年度開講日程
第139期（東　京）　2020年５月開講予定
第140期（大　阪）　2020年６月開講予定
第141期（名古屋）　2020年９月開講予定
第142期（東　京）　2020年９月開講予定
第143期（大　阪）　2020年10月開講予定

物流技術管理士補資格認定コース
（旧　物流技術管理士補スクーリング）

講座名

受講対象
- 産業能率大学が実施する所定の通信教育修了者
- 東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者
- 流通経済大学流通情報学部ならびに大学院物流情報学研究科における所定単位取得者
- 中央職業能力開発協会が実施するビジネスキャリア検定「ロジスティクス管理」または「ロジスティクス・オペレーション」の2級もしくは3級の合格者かつ、企業等での実務経験を有する方。
- ロジスティクス基礎講座の修了者

開催日数 2日間

受講料 69,000円（消費税別・１名につき）

プログラムの特徴 講義／グループ演習／事前課題レポート

2020年度開講日程
東京　2020年９月（2日間）
大阪　2020年８月（2日間）
名古屋　2020年10月（2日間）
東京　2021年２月（2日間）

ロジスティクス基礎講座

講座名

受講対象
- ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当の方
- 上記部門以外でロジスティクスの基礎知識を身につけたい方

開催日数 4日間

受講料
JILS会員　：　80,000円（消費税別・１名につき）
JILS会員外：　95,000円（消費税別・１名につき）

プログラムの特徴 講義／事前課題レポート

2020年度開講日程
第77期（東京）　2020年５月～６月
第78期（大阪）　2020年５月～６月
第79期（名古屋）　2020年６月～７月
第80期（東京）　2020年10月～11月
第81期（福岡）　2020年11月

国際物流管理士資格認定講座

講座名

受講対象
- 国際物流関連業務に従事し2年程度の経験を有する方
- 国際物流のスペシャリストを志向する方
- 国際物流に携わる中堅管理者、担当者

開催日数 19日間

受講料
JILS会員　：400,000円（消費税別・１名につき）
JILS会員外：500,000円（消費税別・１名につき）

プログラムの特徴 講義（全9単元）／国際物流施設見学／ケーススタディ／レポート試験（全5回）／客観試験

2020年度開講日程 第42期（東京）
2020年9月～2021年3月

物流現場改善士資格認定講座

講座名

受講対象
- 製造業・流通業、物流業（運送事業者・倉庫業者等）の物流現場改善のリーダーとリーダー候補で物流に関する基本的な用語を理解している方

開催日数 10日間

受講料
JILS会員　：270,000円（消費税別・１名につき）
JILS会員外：370,000円（消費税別・１名につき）

プログラムの特徴 講義（全5単元）／
ケーススタディ・グループディスカッション／
レポート試験（全４回）／
レポート指導／
担当職場の「改善実行計画」の作成

2020年度開講日程 第11期（東京）
2020年６月～2021年２月

ロジスティクス経営士資格認定講座

開催地 東京

ロジスティクスを経営の視点からデザイン
～エグゼクティブのための専門講座～

概　　要	● 実務経験豊富な委員・講師による講義や指導、実践的なケーススタディへの取り組みを通じて、製造業・流通業の物流・ロジスティクス関連部門の責任者や、物流企業の経営幹部に求められる、戦略的思考力、財務分析力、戦略立案力、課題解決力の強化を図ります。
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「ロジスティクス経営士」の資格が授与されます。
受講資格	● ロジスティクス関連の実務経験が5年程度ある、部長職クラスまたは部長職候補もしくは幹部候補の方。 ● 物流技術管理士または国際物流管理士の資格取得後、実務を3年以上経験した幹部候補の方。
期待される到達レベル	● 経営の視点を常に意識して、考えることができる。 ● 財務諸表を分析し、企業の課題を発見することができる。 ● 課題を把握し、優先順位をつけることができる。 ● 課題解決のための方策を立案することができる。 ● 課題解決案を他者に説明し、理解を得ることができる。 ● 自社の業界、自分の立場にとらわれず、自由で柔軟な発想ができる。
合格基準	● 資格の合否判定は能力開発委員会 ロジスティクス経営士専門委員会が行い、以下の基準をすべて満たした場合、合格と判定される。 ①講座の修了者であること。 ②論文試験と面接試験を受験し、その合計点（100点満点）が80点以上であること。 ＊配点内訳：論文試験40点／面接試験60点
講　　師	● 各専門分野の第一線の学識経験者、実務家、専門コンサルタント　など
会期・開催地・定員	6ヵ月間（14日間） ● 第19期 2020年10月～2021年3月　東京（36名）
受講料（消費税別：1名につき）	①会員　400,000円 ②会員外　500,000円 ③有資格者優待（会員）　350,000円 ④有資格者優待（会員外）　450,000円

プログラム

【第1単元】　ロジスティクスと経営戦略

1. ロジスティクスと経営戦略
2. 経営戦略から見たSCM
3. 企業競争力としてのロジスティクス戦略
4. SCMとベンチマーキング
5. 経営戦略と情報技術（IT）
6. 先進企業のSCM実践事例

【第2単元】　ロジスティクスと経営管理

1. 財務分析と経営管理指標
2. ロジスティクスと在庫マネジメント
3. ロジスティクスと経営の評価
4. ロジスティクスと経営の評価（企業事例）
5. ABM（Activity　Based　Management）
   ～活動基準原価計算とコストコントロール～
6. 財務諸表による競合比較

【第3単元】　ロジスティクスにおける企業間コラボレーション

- コーディネータ、発表者による講演
- 受講者参加によるディスカッション

【第4単元】　コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメント

1. 企業経営とリスクマネジメント
2. コーポレート・ガバナンスとリスクマネジメントの実践

【第5単元】　組織・人事マネジメント

1. 組織の設計と基本デザイン
2. 企業事例

【第6単元】　ロジスティクスと環境

1. 企業経営と環境問題対応

【第7単元】　グローバリゼーション

1. ロジスティクスとグローバリゼーション
2. 企業事例

【第8単元】　ロジスティクスの戦略立案（ケーススタディ）

ケーススタディ

架空企業を題材としたケーススタディ（2つの例題／論文執筆のためのケースブック）に取り組み、ロジスティクスの戦略立案について実践的に学びます。

グループ・ミーティング（全3回）

グループメンバー相互の発表やディスカッション、委員からの指導を通じて自社のロジスティクスの課題を整理し、解決案について検討します。

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

物流技術管理士資格認定講座

開催地　東京／大阪／名古屋

認定者は 11,000 名以上
物流・ロジスティクスのプロフェッショナルを育成する専門講座

概　　要	● 物流技術管理士資格認定講座は、物流管理者および物流技術者として必要な、物流・ロジスティクスの全領域にわたる専門知識およびマネジメント技術を総合的かつ体系的に学ぶ講座です。 ● 製造業・流通業、物流事業者、物流子会社の方を中心として、例年、約400名の方にご受講いただいております。
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「物流技術管理士」の資格が授与されます。
資格認定規程（抜　粋）	● 会期中（18日間）、14日以上出席すること。 ● 前・後期2回分の受講レポートを提出していること。 ● 客観試験（前・後期に筆記試験を2回実施）、論文試験、面接試験の全てを受験し、それぞれの試験の得点が満点の6割以上であり、かつ、すべての試験の合計点から欠席点と受講レポート遅延の減点を引いた総合点が60点以上であること。 ※資格認定規程については、開講式で詳細を説明いたします。ご不明な点は事務局にお問い合わせください。
受講資格	● 物流に関する基本的な用語を理解している方。もしくは ● 物流技術管理士補の有資格者。
講　　師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント　など
会期・開催地・定員	6～7ヵ月間（18日） ● 第139期 2020年 5月開講予定 東京（120名） ● 第140期 2020年 6月開講予定 大阪（ 80名） ● 第141期 2020年 9月開講予定 名古屋（ 50名） ● 第142期 2020年 9月開講予定 東京（120名） ● 第143期 2020年10月開講予定 大阪（ 80名）
受講料（消費税別：1名につき）	①会員 450,000円 ②会員外 550,000円 ③有資格者優待（会員） 400,000円 ④有資格者優待（会員外） 500,000円

プログラム

【プレミーティング】（2日）
問題の発見と解決（グループ演習）

【第1単元】 経営とロジスティクス（1日）
1. 企業価値を高めるロジスティクスの役割
2. ロジスティクスにおける顧客サービス
3. ロジスティクス戦略
4. ロジスティクスIT概論

【第2単元】 物流コスト管理（1日）
1. 物流コスト管理概論
2. 物流ABCの活用

【第3単元】 物流拠点管理（2日）
1. 保管・荷役とマテハン機器
2. 物流拠点におけるIT活用
3. 生産性と品質管理
4. 物流拠点管理概論（グループ演習）

【第4単元】 輸配送管理（2日）
1. 輸配送管理概論
2. 輸配送におけるIT活用
3. 輸配送システムの構築（個人演習）

【第5単元】 包装技術（0.5日）
1. 包装技術概論

【第6単元】 物流現場改善（1.5日）
1. 科学的管理技法概論
2. 物流現場の改善技法（個人演習）

【第7単元】 総合演習Ⅰ（2日）
物流改善演習（グループ演習）

【第8単元】 在庫管理とSCM（1日）
1. 在庫管理とSCM概論
2. 在庫管理の実務
3. SCMの実務

【第9単元】 グローバルロジスティクス（0.5日）
1. グローバルロジスティクス概論

【第10単元】 グリーンロジスティクス（0.5日）
1. グリーンロジスティクス概論

【第11単元】 物流アウトソーシングと3PL（1日）
1. 物流アウトソーシング、3PL
2. 3PLと契約

【第12単元】 ロジスティクスの社会的役割（1日）
1. CSR
2. 標準化
3. 行政の動向

【第13単元】 総合演習Ⅱ（2日）
物流改革演習（グループ演習）

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

物流技術管理士補資格認定コース
（旧　物流技術管理士補スクーリング）

開催地　東京／大阪／名古屋

概　　要	● ロジスティクス構築による経営革新に向けた計画の立案に取り組んでいただくグループ演習をカリキュラムの中心に据えています。 ● 通信教育や講座、講義で学ばれた知識を計画立案時にどのように活用すればよいか、企業事例をベースとしたグループ演習を通じて実践的に経験していただくことを目的としています。
資格取得	● 事前に課題レポートをご提出いただいた後、本講座に2日間出席し、修了した方に「物流技術管理士補」の資格が授与されます。
受講資格	● ロジスティクス基礎講座の修了者。 ● 産業能率大学が実施する所定の通信教育修了者。 ● 東京海洋大学大学院「食品流通安全管理学」講義における所定単位取得者。 ● 流通経済大学流通情報学部および大学院物流情報学研究科における所定単位取得者 ● 中央職業能力開発協会が実施するビジネスキャリア検定「ロジスティクス管理」または「ロジスティクス・オペレーション」の2級もしくは3級の合格者かつ、企業等での実務経験を有する方。

会期・開催地・定員	2020年 8月（2日間）	大阪（40名）
	2020年 9月（2日間）	東京（60名）
	2020年10月（2日間）	名古屋（20名）
	2021年 2月（2日間）	東京（60名）
受講料（消費税別：1名につき）		69,000円

プログラム

【第1日目】
1. ロジスティクスの重要性と取り巻く環境
2. ケーススタディ　【演習】
   ・演習問題の説明　　・グループディスカッション

【第2日目】
3. ケーススタディ　【演習】（前日の続き）
   ・グループディスカッション　　・講評／解説
   ・グループディスカッション結果発表
4. 資格認定証授与

ロジスティクス基礎講座

開催地　東京／大阪／名古屋／福岡

概　　要	● 物流・ロジスティクスに関わる基礎知識や技法を体系的に学習するための講座です。 ● ロジスティクスの基本から物流現場のオペレーションまで、わかりやすく解説し、実務に直結するカリキュラムになっています。 ● 受講者の方々に講義内容の理解を深めていただくために、課題レポート（前半1回、後半1回）をご提出いただきます。 ● 本講座を修了された方には「修了証」を授与いたします。
修了規定	● 講座を全日（4日間）出席し、課題レポート2回を提出すること。
資格取得	● 本講座を修了後、当協会が主催する「物流技術管理士補資格認定コース」（2日間）を受講され、修了された方には、「物流技術管理士補」の資格を授与いたします。
対　　象	● ロジスティクス関連部門の新入社員・新任担当の方。 ● 上記部門以外でロジスティクスの基礎知識を身につけたい方。
講　　師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント　など
会期・開催地・定員	（4日） ● 第77期 2020年 5月～2020年 6月　東京（100名） ● 第78期 2020年 5月～2020年 6月　大阪（ 50名） ● 第79期 2020年 6月～2020年 7月　名古屋（ 40名） ● 第80期 2020年10月～2020年11月　東京（ 70名） ● 第81期 2020年11月　福岡（ 40名）
受講料（消費税別：1名につき）	①会員　80,000円 ②会員外　95,000円

プログラム

Ⅰ．ロジスティクス概論（1）（2）
Ⅱ．ロジスティクス・オペレーションの基本機能
　①包装
　②輸配送（1）（2）
　③保管
　④荷役
　⑤情報システム
Ⅲ．物流改善
Ⅳ．在庫管理
Ⅴ．物流コスト
Ⅵ．ロジスティクスの課題と展望

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

国際物流管理士資格認定講座

開催地 東京

最新の情報と企業事例を学び、国際物流のプロフェッショナルを目指す専門講座

概　　要	● 国際物流管理士資格認定講座は、国際物流プロフェッショナルとして必要な専門知識を総合的、体系的に学ぶ講座です。
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「国際物流管理士」の資格が授与されます。
資格認定規程（抜　粋）	● 出席に関する規程 講座期間中、14日以上出席すること。 ● 試験に関する規程 客観試験およびレポート試験（5回）をすべて受験し、それぞれの得点が70点以上（100点満点）であること。 レポート試験と客観試験の平均点（100点満点）から、欠席点を引いた得点が70点以上であること。 なお、欠席点は1日につき1点、半日につき0.5点とする。 ※資格認定規程の詳細は、講座の開講時に、事務局よりご説明いたします。
受講資格	● 国際物流関連業務に従事し2年程度の経験を有する方。
対　　象	● 国際物流のプロフェッショナルを志向する方。 ● 国際物流に携わる中堅管理者、担当者。
講　　師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント　など
会期・開催地・定員	7ヵ月間（19日） ● 第42期 2020年9月開講予定～2021年3月　東京(35名)
受講料（消費税別：1名につき）	①会員　400,000円 ②会員外　500,000円 ③有資格者優待（会員）　350,000円 ④有資格者優待（会員外）　450,000円

プログラム

【第1単元】グローバルロジスティクスのアウトラインを捉える（1.5日）
1. 国際物流とロジスティクス
2. グループ討議
3. 昨年度総代による講演

◆キックオフミーティング（交流会）

【第2単元】輸出入業務の流れと貿易実務に必要な知識を学ぶ（2.5日）
1. 国際マーケティングとインコタームズ、ウィーン売買条約
2. 輸出入における通関業務と保税手続き、通関システム
3. FTAとEPA、原産地規則、AEO制度
4. 貿易売買契約と各種決済方法、外国為替とリスクヘッジ、国際ファイナンス

【第3単元】国際物流の根幹を成す海上輸送を理解する（2日）
1. 海上貨物輸送概論
2. 海上個品運送契約/船荷証券/Sea Waybill/複合運送証券
3. 国際物流におけるコールドチェーンと特殊・冷凍コンテナ
4. NVOCCと国際複合輸送
5. 海上運送における危険物概論
6. 国際物流におけるコスト削減に向けた取り組み

【第4単元】航空輸送の仕組みとポイントを理解する（1日）
1. 航空産業概論
2. 航空貨物輸送概論、航空協定、航空運送約款と航空運送状、航空貨物運賃
3. フォワーダーとインテグレーターのグローバルロジスティクス展開

【第5単元】グローバルサプライチェーンの可視化と最適化の手法を学ぶ（3日）
1. グローバルサプライチェーンにおけるKPIの算定と既存業務プロセスの見直し
2. サプライチェーン最適化のためのシステム構築
3. 企業事例
4. 3PL概論
5. グループ討議

【物流施設見学】国際物流の最前線を、見学して感じる（1日）

【第6単元】国際物流のリスクを理解し、対処する方策を学ぶ（2日）
1. 国際物流におけるリスクマネジメント事情
2. リスクマネジメント概論
3. 物流BCP
4. 国際物流におけるリスクマネジメントとロスプリベンション
5. 貿易貨物保険とクレームの実務

【第7単元】海外の最新物流環境を学ぶ（2日）
1. インドの最新物流事情
2. 欧州の最新物流事情
3. 米国の最新物流事情
4. 東南アジアの最新物流事情
5. 中国の最新物流事情

【第8単元】グローバル企業が直面した課題と解決方法を学ぶ（2日）
1. 海外におけるSCM・ロジスティクス改善事例
2. 海外駐在における駐在員の心得
3. ITによる国際物流の見える化
4. 海外現地における人材マネジメント方策
5. 海外現地における物流構築・改善の実際

【第9単元】あるべき姿に到達するための実践力を身につける（2日）
1. ケーススタディ「グローバルロジスティクス改革」

●レポート試験（5回・・・第2、3、4、5、6単元）

●客観試験

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

物流現場改善士資格認定講座

開催地 東京

物流現場改善をデータで議論、数値で管理し、改善を実践する 物流現場改善リーダー育成のための専門講座

概　　要	● グループディスカッション、演習を多く取り入れ、理論・知識を実務で・活用するための実践力を身に付けます。 ● 実際の企業の物流現場をモデルにしたケーススタディに取り組みます。 ● 講座の成果として受講者の担当職場の改善実行計画が完成します。
資格取得	● 本講座を修了し、所定の試験に合格した方に、「物流現場改善士」の資格が授与されます。
受講対象	● 製造業・流通業、物流業（運送事業者・倉庫業者等）の物流現場改善のリーダーとリーダー候補で物流に関する基本的な用語を理解している方。
期待される到達レベル	● 物流業務における問題点を常に意識し、問題点を把握することができる。 ● 把握された問題点を、各種の分析手法を用い分析し、課題を抽出することができる。 ● 抽出された課題に優先順位をつけ、課題解決のための方策を立案することができる。 ● 課題解決案を社内外の関係者に説明し、理解を得、実行することができる。 ● 実行した課題解決の結果を評価できる。
合格基準	● 資格の合否判定は能力開発委員会 物流現場改善士専門委員会が行い、以下の基準を満たした場合、合格と判定される。 ● 講座の修了者であること。 ● 以下4つのレポート試験の全てを遅延なく提出し、「改善実行計画レポート－2」の全ての採点項目の得点が6割以上であること。 ①「問題発見レポート」 ②「改善企画レポート」 ③「改善実行計画レポート－1」 ④「改善実行計画レポート－2」
講　　師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント　など
会期・開催地・定員	（10日） ● 第11期 2020年6月～2021年2月　東京（68名）
受講料（消費税別：1名につき）	①会員　270,000円 ②会員外　370,000円

プログラム

【第1単元】　物流現場改善概論

1. 物流現場業務改善概論

【第2単元】　現状把握力の強化

1. 問題発見の基礎
2. 問題発見のヒント

【第3単元】　改善企画力の強化

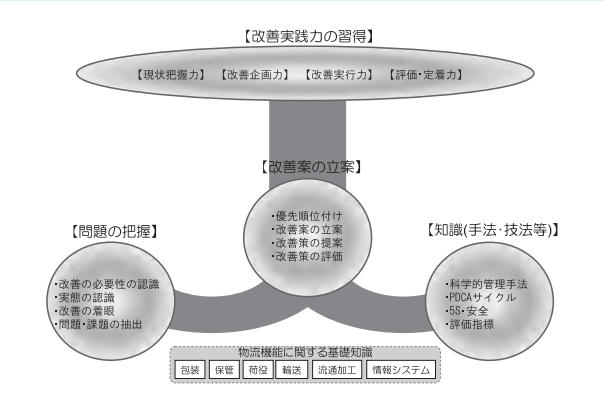
1. 振返り演習－1
2. 物流コスト分析
3. 科学的管理手法の習得－1
4. 科学的管理手法の習得－2

【第4単元】　改善実行力・評価･定着力の強化

1. 振返り演習－2
2. 改善実行の推進について
3. 物流現場改善の評価・定着・横展開
4. 物流評価指標・KPI
5. ケースの出題・説明

【第5単元】　物流現場改善立案：ケーススタディ

1. 振返り演習－3
2. レポート指導
3. ケーススタディのグループディスカッション
4. グループごとの提案書発表
5. 講評とまとめ



物流現場改善士資格取得者に授与されるバッジ

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

ストラテジック SCM コース

開催地 東京

いま問われるサプライチェーンの真価
戦略的な視点で学ぶ「最先端の SCM」

概　　要	● 戦略的な視点から、経営科学的なアプローチも含めた最新のSCMを学びます。 ● グループ演習で、日本のSCMの問題構造を、現状問題構造ツリー(CRT)により明らかにし、解決策を検討します。 ● 本コースは、2016年度より東京工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科キャリアアップMOTより、コースを引き継ぎ、日本ロジスティクスシステム協会が運営しています。
修了規程	● 出席に関する要件（15日以上出席）を満たした者 ● 出席に関する要件（13.5日以上出席）を満たし、コーディネーターが受講評価を可と認めた者
対　　象	● 企業の経営企画を担当する経営幹部あるいはスタッフの方、サプライチェーンの計画・設計・管理・運営を担当する社会人の方
講　　師	● 各専門分野を代表する学識経験者、実務家、専門コンサルタント　など
会期・開催地・定員	（21日） ※20日：毎　週　19：00～21：00 　1日：最終日　10：00～17：00 第21期 ● 2020年　4月～2020年9月 東京（30名） 第22期 ● 2020年10月～2021年3月 東京（30名）
受講料（消費税別：1名につき）	180,000円

プログラム

【SCMの概念と経営戦略】

1. オリエンテーション／SCMの全体像と授業科目
2. 特別講義
3. SCM総論　SCMとリスク
4. 経営とSCM
5. CRT演習による課題研究とディスカッション

【サプライチェーンの実行プロセス】

6. プロセスモデル（SCOR）と業務プロセス改革
7. 調達から考えるサプライチェーン経営戦略
8. 生産スケジューリングとサプライチェーンBOM
9. サプライチェーン計画マネジメントとS&OP

【SCMにおける数理技術／ORの活用】

10. SCMスコアカードとSCMの課題／CRT演習
11. SCMにおける需要予測と在庫最適化
12. SCMにおけるORの活用:経営意思決定と数理モデル
13. ORを使った最適化モデルと企業戦略への活用

【流通市場とSCM】

14. 消費財流通のチャネル戦略とSCM
15. SCMにおけるロジスティクスマネジメント
16. サービスイノベーションとSCM／DCM連携
17. SCMのリスク・マネジメント再構築
18. マーケティングとSCM

【グローバル化時代におけるＳＣＭの課題】

19. サプライチェーン可視化とトレーサビリティー
20. グローバル・サプライチェーン戦略

【グループ課題発表会・修了式・特別講義】

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

2020年度　開催予定セミナー　一覧

東京開催

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合がございますので、ご了承ください。

セミナー名	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
即実践！　新任担当者のための物流営業セミナー	●											
物流ABCによる荷役費・保管費・配送費の徹底削減基礎セミナー			●									
輸配送効率化実践セミナー			●									
物流センター管理者のためのヒューマンスキルアップセミナー			●									
「物流提案営業の進め方」実践セミナー				●								
需要予測の基本セミナー				●								
物流センター長のための物流拠点管理実践セミナー					●							
たった一日でよく判る物流コスト基礎セミナー					●							
物流センターの管理・レイアウト設計改善セミナー					●							
梱包・包装最適化による物流コスト削減実践セミナー～デザイン・フォー・ロジスティクス（DFL）～						●						
SCM基礎セミナー						●						
「問題発見」実践セミナー						●						
物流現場におけるデータ分析力強化セミナー								●				
S&OPセミナー								●				
超簡単！　物流IE実践セミナー									●			
荷主物流担当者のための物流アウトソーシング＆マネジメント「再」強化セミナー										●		
WMS（倉庫管理システム）導入と活用セミナー										●		
新任担当者のための国際物流基礎セミナー												●
在庫適正化実践セミナー												●

大阪開催 ※諸事情により、内容・日時等を変更する場合がございますので、ご了承ください。

セミナー名	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
「物流提案営業の進め方」実践セミナー			●									
輸配送効率化実践セミナー				●								
たった一日でよく判る物流コスト基礎セミナー					●							
物流現場改善の進め方						●						
「しってるをしてるに!! トヨタ式物流改善の極意」セミナー						●						
在庫適正化実践セミナー							●					
荷主物流担当者のための物流アウトソーシング＆マネジメント「再」強化セミナー								●				
営業で勝つために効くセミナー									●			
よくわかる!! 情報システム基礎セミナー											●	
物流現場リーダー育成セミナー											●	
物流センターの管理・レイアウト設計改善セミナー											●	

名古屋開催 ※諸事情により、内容・日時等を変更する場合がございますので、ご了承ください。

セミナー名	2020年									2021年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
輸配送効率化実践セミナー				●								
たった1日でよく判る物流コスト基礎セミナー					●							
「問題発見」実践セミナー											●	

セミナー MAP

レベル テーマ	基礎	実践・応用
営業	即実践！ 新任担当者のための物流営業セミナー 営業で勝つために効くセミナー 「物流提案営業の進め方」実践セミナー	
物流コスト	たった一日でよく判る物流コスト基礎セミナー 物流ABCによる荷役費・保管費・配送費の徹底削減基礎セミナー	
国際	新任担当者のための国際物流基礎セミナー	
情報	よくわかる!! 情報システム基礎セミナー WMS（倉庫管理システム）導入と活用セミナー	
輸配送		輸配送効率化実践セミナー
アウトソーシング		荷主物流担当者のための物流アウトソーシング＆マネジメント「再」強化セミナー
在庫		在庫適正化実践セミナー
SCM	SCM基礎セミナー 需要予測の基本セミナー	S & OP（Sales and Operations Planning）セミナー 梱包・包装最適化による物流コスト削減実践セミナー ～デザイン・フォー・ロジスティクス（DFL）～
改善	「問題発見」実践セミナー 物流現場改善の進め方 物流センターの管理・レイアウト設計改善セミナー 「しってるをしてるに!! トヨタ式物流改善の極意」セミナー	物流現場リーダー育成セミナー 超簡単！ 物流IE実践セミナー 物流現場におけるデータ分析力強化セミナー
マネジメント		物流センター管理者のためのヒューマンスキルアップセミナー 物流センター長のための物流拠点管理実践セミナー

即実践！ 新任担当者のための物流営業セミナー

営業

概　　要	● 物流営業の基本的な考え方から営業活動におけるコミュニケーションスキルについて、事例紹介やロールプレイングを交えながら、解説いたします。
対　　象	● 物流事業者、物流子会社、3PL事業者の営業部門に配属または配属予定の新入社員 ● 新任の営業担当者の方 ● 営業経験5年未満の方
会　　期	● 2020年4月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1．物流営業の役割を理解する
2．顧客（荷主企業）の物流ニーズを知る
3．物流営業の基本を知る
　1）ヒヤリングー聞くべき内容は
　2）情報提供ー事例や情報の入手方法
　3）提案ー提案書の作り方
4．ロールプレイング（グループ演習）

物流ABCによる荷役費・保管費・配送費の徹底削減基礎セミナー

物流コスト

概　　要	● 物流ABCの具体的な算定方法や分析・活用方法について講義と演習を通じて学びます。
対　　象	● 物流センターの管理者 ● 物流コスト管理担当者
会　　期	● 2020年6月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. はじめに
2. 物流ABCの基礎
3. 事例研究：物流ABCの導入・活用の実際
4. まとめ

輸配送効率化実践セミナー

輸配送

概　　要	● 輸配送業務における生産性の向上とコスト削減を推進するための業務改善ステップや組織連携のアプローチなどについて事例を交えて解説します。
対　　象	● 製造業・流通業および物流管理会社、物流事業者の輸配送・配車管理者の方
開 催 地 会　　期	① 東　京　2020年6月 ② 大　阪　2020年7月 ③ 名古屋　2020年7月
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. 輸配送の基本
2. 輸配送のムダを把握する
3. 輸配送コストを見える化する
4. 輸配送コストを下げる
5. 効率のよい輸配送を目指す
6. 輸配送のコストダウン成功事例

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

物流センター管理者のためのヒューマンスキルアップセミナー

マネジメント

概　　要	● 労働力不足に対応する物流センター管理者の皆様へ物流センター管理理論と実践的なケーススタディやロールプレイングを通じ、部下をマネジメントするだけでなく、次の管理者・リーダー育成につなげるためのセミナーです。
対　　象	● 製造業・物流業・流通業の物流センター管理者 ● 物流センター管理者、物流センターの現場リーダー
会　　期	● 2020年6月（2日間）
開 催 地	● 東京
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　60,000円 ② 会員外（1名につき）　80,000円

プログラム

講義：

1．物流拠点のマネジメント総論
2．ヒューマンスキルアップ
3．重要指標管理とセンター運営戦略

演習：

1．グループディスカッション（組織設計と組織管理）
2．自社センターの課題抽出
3．ロールプレイング（部下へのコーチング）
4．ケーススタディ（グループ討議等）

「物流提案営業の進め方」実践セミナー

営業

概　　要	● 提案営業による新規顧客開拓の事例、提案営業に必要な手法、企画書の評価や内容の検証方法等について学びます。
対　　象	● 物流子会社、物流事業者の営業部門、企画部門の方
開 催 地 会　　期	① 大阪　2020年6月 ② 東京　2020年7月
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. 物流提案営業の基本
2. 提案型営業の進め方 ～ステップ別解説～
   ステップ1：マーケティングフェーズ
   ステップ2：提案フェーズ
   （演習：ヒアリングシートの作成）
   ステップ3：実行フェーズ
3. 提案書作成とプレゼンテーション
   ①いい提案書の条件・提案書の種類
   ②実際の提案書による事例研究
   ③提案書作成とプレゼンテーションのポイント
4. まとめ

需要予測の基本セミナー

SCM

概　　要	商品の在庫切れや在庫余り抑制のカギを握る「需要予測」に特化したセミナー ビジネスの現場ではどのような取り組みが行われているのか、具体的なケースを例に考え、理論で補強することで、それぞれの業界で役立つ学びを得ていただきます。
対　　象	● 新任SCM担当者（需要予測・在庫計画・生産計画立案・原材料調達など） ● マーケター ● 事業計画立案担当者 ● 需要予測も行うその他の業務担当者（営業担当者など）
会　　期	● 2020年7月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1．製造業におけるSCMの役割と需要予測の位置づけ
2．不十分なデータで行なう新製品の需要予測
3．マーケティングを支える機能としての需要予測
4．発売直後の需要予測
5．認知科学で読み解く予測ミス
6．予測精度が向上しない根本原因【グループワーク】
7．SCMとマーケティングの情報コミュニケーション【ケーススタディ】

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

物流センター長のための物流拠点管理実践セミナー

マネジメント

概　　要	● 品質・生産性の管理や人員管理等物流センター長にとって必要な拠点管理に関する知識や技術、様々なノウハウを講義を通して学びます。
対　　象	● 荷主企業、物流子会社、物流企業における物流拠点の管理者、監督者、グループリーダーおよび拠点管理部門の責任者、オペレーションマネージャーなど
会　　期	● 2020年8月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. はじめに
2. センター長の役割と強い物流現場の創り方
3. 物流サービス品質の定義と業界トップ水準への改善の進め方
4. 物流コストダウン、生産性向上の進め方と改善技法
5. まとめ（強い現場力はセンター長のリーダーシップから）

たった一日でよく判る物流コスト基礎セミナー

物流コスト

概　　要	● 1日で物流コスト構造から、見える化、物流KPIの設定、適切な物流コスト削減の着眼点までを判りやすく解説します。
対　　象	● 製造業、流通業の物流部門および物流企業の管理者、スタッフの方々
開 催 地 会　　期	① 東　京　2020年8月 ② 大　阪　2020年8月 ③ 名古屋　2020年8月
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. 物流コストの基礎知識
2. 物流コスト管理の実際
3. 物流コスト算定（演習）
4. 物流コスト削減の着眼点
5. これからの物流コスト管理
6. まとめ、質疑応答

物流センターの管理・レイアウト設計改善セミナー

改善

概　　要	● 作業効率、生産性、物流品質の高い物流センターの作り方、物流センター管理のツボ、業務改善のための実践的なノウハウを学びます。
対　　象	● 製造業、流通業、物流業のロジスティクス、物流部門の企画担当者、拠点設計、拠点業務の改善、運営担当者の方々
開 催 地 会　　期	① 東京　2020年8月 ② 大阪　2021年2月
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. はじめに
2. 適正な物流センター数の算出方法と立地選定の方法
3. 物流センター規模の決定
4. 物流センターレイアウト設計
5. 物流センター業務管理のツボ

梱包・包装最適化による物流コスト削減実践セミナー ～デザイン・フォー・ロジスティクス（DFL）～

SCM

概　　要	● 「梱包・包装」の改善に目を向け、設計から見直しをしていただくため、物流と梱包・包装の関係からＤＦＬ推進のためのステップまで、講義と演習を踏まえて学んでいただきます。
対　　象	● 製造業の商品設計、製造、物流担当者 ● 物流事業者の営業、改善担当者 ● 新しい改善のテーマがほしい方
会　　期	● 2020年9月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1．物流コスト削減課題と活動ポイント
- ・はじめに
- ・物流コストの更なる低減とポイント

2．デザイン・フォー・ロジスティクス
- ・デザイン・フォー・ロジスティクスとは
- ・演習と解説（Air・Boat）

3．デザイン・フォー・ロジスティクス　プロジェクトの進め方
- ・全体最適指向のDFL推進プロジェクトの進め方

4．まとめ

SCM 基礎セミナー

SCM

概　　要	● 需要の多様化やグローバル化が進展する中、SCMの重要性は益々高まっています。本セミナーでは、SCMの基本的な考え方からSCM改革の進め方までを事例を交えた講義を通じて学びます。
対　　象	● SCM、物流労務、生産管理に携わる方
会　　期	● 2020年11月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. SCMとは
2. グローバル化とSCM
3. 企業事例
4. S&OP
5. SCM改革の進め方

「問題発見」実践セミナー

改善

概　　要	● 物流現場改善の第一歩となる「気付き・問題点の把握」に焦点を当て、「問題発見の着眼点」「問題の抽出」について、事例と演習を交えながら解説します。
対　　象	● 製造業、物流企業（運送事業者・倉庫業者等）の物流現場改善のリーダーとリーダー候補
開 催 地 会　　期	① 東　京　2020年9月 ② 名古屋　2021年2月
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. 物流現場とはどんな場所？
2. ロジスティクスの理解と物流現場の関係
3. 物流現場の現状把握
4. 問題発見能力とは何か？
5. 問題発見の着眼点
6. 実例による改善演習

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

物流現場におけるデータ分析力強化セミナー

改善

概　　要	● 物流現場改善に役立つExcelを活用した実践的なデータ分析手法を学ぶ。
対　　象	● 物流現場改善の担当者 ● 物流現場改善の分析手法を学びたい方
会　　期	● 2020年11月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 20名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　60,000円 ② 会員外（1名につき）　80,000円

プログラム

1．物流現場改善の全体像
2．物流現場の現状把握
3．物流現場の分析・可視化
4．改善企画
5．データ分析実践

S & OP(Sales and Operations Planning)セミナー

SCM

概　　要	● ①S & OPの役割と仕組み（総論） ②S & OPの役割と仕組み（各論・演習） ③S & OPプロセスの導入・継続運用に向けて検討すべき事項について基本と各部門担当者に求められるアクションについて学びます。
対　　象	● SCM担当者・マネジャー
会　　期	● 2020年11月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. S & OPの役割と仕組み（総論）
2. S & OPの役割と仕組み（各論・演習）
3. S & OPプロセスの導入・継続運用に向けて検討すべき事項

超簡単！ 物流IE実践セミナー

改善

概　　要	● 『IE（インダストリアル・エンジニアリング）』の科学的手法をもとに物流現場改善、生産性向上のためのIE手法を講義と、個人演習・グループ演習を通じて習得いただきます。
対　　象	● 物流部門リーダー、センター長、物流企画・運営・改善スタッフの方
会　　期	● 2020年12月
開 催 地	● 東京
定　　員	● 28名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1．IEを活用すると物流はどう変わるのか
　・IE（インダストリアル・エンジニアリング）とは何か
2．物流作業の標準化
　・物流現場を標準化する3ステップ
3．物流作業の定量化と生産性把握
　・物流標準時間導入の必要性と設定上の課題
　・物流標準時間を活用しよう
4．簡単なIE分析手法の導入
　・物流に役立つ手法　Aランク手法
5．物流現場のムダの見つけ方

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

荷主物流担当者のための物流アウトソーシング&マネジメント「再」強化セミナー

アウトソーシング

概　　要	● 物流アウトソーシングをマネジメントするための管理手法、見える化、物流ＫＰＩの設定方法などのノウハウをケーススタディを交えて学びます。
対　　象	● 製造業、流通業の物流部門および物流企業の管理者、スタッフの方々
開催地 会　期	① 東京　2021年１月（2日間） ② 大阪　2020年11月（2日間）
定　　員	● 30名
参加料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　60,000円 ② 会員外（1名につき）　80,000円

プログラム

1. 物流のマネジメント上の課題とは
2. マネジメントを実現するための活動とは
3. 物流アウトソーシングのレベルアップのための活動とは

WMS（倉庫管理システム）導入と活用セミナー

情報

概　　要	● WMS設計と導入、定着化までの一連のプロセスについて学びます。
対　　象	● 物流情報システム部門の管理者、担当者の方々 ● WMS及びWMSに関係する情報関連機器についての基礎知識を習得したい方々
会　　期	● 2021年1月
開催地	● 東京
定　　員	● 30名
参加料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. 物流・ロジスティクスとIT
2. 物流センターの情報システム
3. 物流センターの情報システムと自動化設備
4. 今後必要とされる物流センターの情報システム機能
5. WMS構築時のポイント

新任担当者のための国際物流基礎セミナー

国際

概　　要	● 初めて国際物流に携わる方々を対象に、国際物流の基礎を体系的に学びます。
対　　象	● 国際物流、貿易関連部門の新入社員、新任担当者の方 ● 上記部門以外で国際物流の基礎知識を身につけたい方
会　　期	● 2021年3月（2日間）
開催地	● 東京
定　　員	● 30名
参加料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

＜1日目＞

1. 国際物流入門
   1）国際物流の基礎知識
   2）国際物流の機能

2. 貿易実務の基礎
   1）貿易取引の概要
   2）取引交渉から契約の流れ
   3）インコタームズ２０１０

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

在庫適正化実践セミナー

在庫

概　　要	● 製造業や流通業等の荷主企業における在庫のあり方やその適正化に向けたポイントについて、講義と演習を交えて学びます。
対　　象	● 製造業、流通業等の荷主企業におけるＳＣＭ、ロジスティクス、物流部門の係長、担当者の方 ● 物流子会社、物流事業者の方で、荷主企業の在庫管理に関心のある方
開催地 会　期	① 大阪　2020年10月 ② 東京　2021年３月
定　　員	● 30名
参加料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. 企業における在庫
2. 在庫適正化へのアプローチ
3. グループ演習
   在庫・出荷実績データ等に基づく問題点の整理と改善・改革の方向性を検討するグループ演習を予定しています。
4. まとめ
5. 事例紹介

物流現場改善の進め方

改善

概　　要	● 物流現場における初歩的な管理項目や改善基礎知識、分析手法を学びます。
対　　象	● 新任の物流部門・物流センター管理の実務担当者の方
会　　期	● 2020年9月
開催地	● 大阪
定　　員	● 30名
参加料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. 物流現場管理の基礎
2. 問題・課題を正しく捉える
3. 問題点を明らかにする分析手法（演習）
4. 物流現場の改善手法
5. 物流品質の考え方
6. 物流業務改善の体系的な進め方

「しってるをしてるに!! トヨタ式物流改善の極意」セミナー

改善

概　　要	● トヨタ式物流改善の手法を実演などを通じ、解説します。
対　　象	● 製造業、流通業および物流管理会社、3PL、物流企業の管理者および改善推進リーダー担当の方々
会　　期	● 2020年9月
開催地	● 大阪
定　　員	● 30名
参加料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円

プログラム

1. 開講にあたって
2. 「カイゼン」とは
3. 物流とロジスティクス
4. TPS
5. 物流人材の育成
6. KPI（主要管理指標）
7. その他

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

営業で勝つために効くセミナー

営業

概　　要	● 荷主企業の物流ニーズを的確に把握し、自社の物流サービスとその優位性を理解した上で荷主企業に効果的なアプローチを行うための方法を具体的な事例を交えながらわかりやすく解説いたします。
対　　象	● 物流子会社、物流事業者の営業部門、企画部門の方
会　　期	● 2020年12月
開 催 地	● 大阪
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　35,000円 ② 会員外（1名につき）　50,000円
参加特典	●『すぐに使える提案書作成の基本フレーム』を進呈

プログラム

1. 荷主の物流ニーズの現状
2. 物流業界におけるマーケティング手法
3. 営業で勝つために準備すべき事項
   - ・営業戦略編
   - ・ツール編
   - ・ネットワーク編
4. 勝つための提案営業の基本
   - ・営業先の見つけ方（ターゲットセグメント）
   - ・提案アプローチと事前準備
   - ・他社と違う提案書作成のポイント
   - ・プレゼンテーションの６箇条

よくわかる!! 情報システム基礎セミナー

情報

概　　要	● WMS・TMSなどロジスティクスに関わる情報システムの基礎から、実際にシステムを導入する際のポイントや提案要求書（RFP）発行とベンダ選定手法について解説いたします。
対　　象	● 物流情報システム部門の管理者、担当者の方々
会　　期	● 2021年2月（2日間）
開 催 地	● 大阪
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　60,000円 ② 会員外（1名につき）　80,000円

プログラム

1. はじめに
2. 情報システムの基礎知識とトレンド
3. ロジスティクスの情報システム概略
4. 物流拠点におけるIT活用（WMS）
5. 輸配送におけるIT活用（TMS）
6. 物流QCDの見える化とKPI管理（LMS）
7. 情報システム導入を成功させるコツ
8. 提案要求書（RFP）発行とベンダ選定
9. まとめ

物流現場リーダー育成セミナー

改善

概　　要	● 物流センターにおけるコスト管理手法や、物流現場改善のスキルを学び、ケーススタディで改善実践力を鍛えます。
対　　象	● 製造業、流通業、物流業における物流センターの現場リーダー、リーダー候補の方々
会　　期	● 2021年2月（2日間）
開 催 地	● 大阪
定　　員	● 30名
参 加 料 （消費税別）	① 会　員（1名につき）　60,000円 ② 会員外（1名につき）　80,000円

プログラム

1. 物流現場リーダーに必要な資質
2. 物流コスト構造化
3. 物流現場改善の基礎①　問題の把握
4. 物流現場改善の基礎②　現状分析手法
5. ケースを通じた改善アイデア検討
6. 現場をコントロールするマネジメントの実践

※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。

A　物流教育 DVD【正しい荷扱い作業とは】

- プロローグ
- 手扱い（ハンドリング）
- フォークリフト
- 正しい荷扱いを助ける表示（ケアマーク）
- 入庫・保管・出庫作業
- エピローグ

◆日本語版／英語版ナレーション付
◆収録時間　約25分
◆価格（送料別、消費税別）
1本　10,000円

B　物流教育 DVD【正しい現品管理とは】

- プロローグ
- 現品管理が悪いと
- 現品管理のまずさの要因
- 現品（物）の扱いの改善
- ミスのない現品取り扱いのアイデア
- 事務処理の改善
- 例外処理のルール化
- 現品棚卸の正確性向上
- 教育訓練と評価
- エピローグ

◆日本語版／英語版ナレーション付
◆収録時間　約25分
◆価格（送料別、消費税別）
1本　10,000円

DVDはJILSホームページからお申し込みいただけます。

トップ ➡ 調査・統計 機関誌・出版物 ➡ 書籍・教育DVD

- 英語ナレーションもついていますので、
海外現地法人での人材教育などにもご活用いただけます。

※リージョンフリーですので、DVDプレーヤの地域設定に関わらず利用できます。
※DVDをテレビに出力する場合には、NTSC方式（日・米等）のテレビをご利用ください。
なお、パソコンで出力する場合には信号方式による影響はありません。

【割引セット販売】
セットでお買い求めいただくと、割引価格になります（割引は同時にＦＡＸ又はＷＥＢでお申込みの場合のみに適用となります）。

A＋Bセット（5,000円割引）	15,000円（税・送料別）

※物流教育DVDの価格は消費税別での記載をしております。
税込み価格はご注文時期により異なりますので、別途お問い合わせください。

社内教育

当協会では公開制の各種講座やセミナーを開催するとともに、各企業オリジナルのオーダーメイドの社内教育を実施しております。

＜社内教育のメリット＞
- 完全オーダーメイドの教育プログラム･教材をご提供いたしますので､貴社の教育ニーズ･レベルに合わせた内容となります。
- 日数、開催日、会場など、貴社のご都合に合わせた調整が可能です。
- 貴社に在籍する資格取得者を活用した、各種講座と連携した中・長期的な人材育成についても、ご相談ください。

＜社内教育の流れ＞

1.お問い合わせ・ご相談	貴社の人材育成に関する悩み事、人材育成ニーズ等について、お聞かせください。
2.教育プログラムの提示	貴社のニーズに応じた教育プログラムをご提示いたします。 ※貴社の関係者がご納得いただくまで、内容の調整をいたします。
3.テキストの作成	貴社向け教育プログラムに対応したテキストを作成いたします。
4.教育プログラムの実施	専門講師による、講義を実施いたします。
5.フォローアップの実施	実施プログラムの評価、次回への提案等をさせていただきます。

＜社内教育メニュー＞
以下に示すのは一例ですので、詳細は当協会 JILS総合研究所宛にお問い合わせください。

分　類	コ　ー　ス　名　（例）
階層別教育コース	経営幹部コース／管理・監督者レベルアップコース／物流管理実践力強化コース／新入社員基礎コース　等
テーマ別教育コース【基　礎】	ロジスティクスシステム／国際物流／物流コスト管理／営業力強化／物流現場改善／グリーン物流　等
テーマ別教育コース【実　践】	物流提案営業／輸配送システム効率化／倉庫管理／在庫管理／物流安全衛生／環境負荷低減施策　等

コンサルティング

- ロジスティクスに精通したコンサルタントとの協業により、ロジスティクスに関する戦略立案・効率化・コストダウン・情報化など、ロジスティクスにおける経営革新を支援いたします。

通信教育

（監修）公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

- 詳細につきましては、各実施機関のホームページをご覧ください。

実施機関	コース名	対象者	期間
学校法人 産業能率大学	物流の仕事がわかる	初めて物流の仕事に携わる方、物流の基本を再確認・強化したい中堅クラスの担当の方、物流の知識を必要とする他業界・他部門の担当者の方	2ヵ月
	物流技術を極める	物流管理部門の担当者、物流業の中堅～管理・監督者、その他企業の管理、監督者	2ヵ月
	ロジスティクス・マネジメントを極める	物流業をはじめとする企業の管理・監督者、経営企画、システム構築などに携わる方	2ヵ月

人材育成のための支援ツール（手引書・診断ツール）

当協会のホームページより各種支援ツールをご活用ください。

	物流現場改善推進のための手引書 ※「英語版」「ベトナム語版」「タイ語版」も当協会ホームページに掲載しております。
	グリーンロジスティクスガイド
	グリーン物流ってなんだろう？
	キャリアアップ診断・チェックリスト ・物流現場改善リーダーキャリアアップ診断　・問題発見チェックリスト ・現場活性サイクルチェックリスト　・グリーンロジスティクスチェックリスト
	物流現場改善事例集
	ロジスティクスKPI活用の手引き

企業事例から学ぶ

先進事例から学ぶ

＊ロジスティクス全国大会、ロジスティクス関西大会、中部ロジスティクス講演会、九州ロジスティクス講演会は、有資格者優待の対象です。

ロジスティクス全国大会　2020

開催地　東京

開催時期	● 2020年10月（2日間）
開催場所	● 東京
参加料（消費税別）	● ①34,000円（会員）　1名あたり ②56,000円（会員外）　1名あたり ③27,500円（有資格者優待）1名あたり

今日のロジスティクスを取り巻く環境変化に対応し、持続可能な発展のために何をすべきか、優れた先進事例の発表（ロジスティクス大賞表彰）等を通じて課題の解決に向けた方向性の共有を図ります。JILSの年次大会として、活発な交流が行われます。

ロジスティクス関西大会　2021

開催地　大阪

開催時期	● 2021年2月（2日間）
開催場所	● 大阪
参加料（消費税別）	● ①31,000円（会員）　1名あたり ②52,000円（会員外）　1名あたり ③24,000円（有資格者優待）1名あたり

ロジスティクスを通じて、グローバル競争に対応する経営戦略を啓発し、最新の革新動向について情報発信するとともに、参加者相互の情報交流を通して、新世紀のロジスティクスのあり方を検討します。

中部ロジスティクス講演会　2020

開催地　名古屋

開催時期	● 2020年10月（半日）
開催場所	● 名古屋
参加料（消費税別）（予定）	● ① 8,000円（会員）　1名あたり ②16,000円（会員外）　1名あたり ③ 5,000円（有資格者優待）1名あたり

中部地域のロジスティクス関係者が一堂に集い、講演や懇親会を通じて、ロジスティクスの視点からの経営戦略や最新の革新動向に関する活発な情報交流を行います。

九州ロジスティクス講演会　2020

開催地　福岡

開催時期	● 2020年10月（1日）
開催場所	● 福岡
参加料（消費税別）	● ① 8,000円（会員）　1名あたり ②16,000円（会員外）　1名あたり ③ 5,000円（有資格者優待）1名あたり

九州・山口地域のSCM・ロジスティクス関係者が一堂に集い、ロジスティクスの視点から経営戦略や最新の動向に関する活発な情報交換を行います。

テーマ別研究会

開催地　東京／大阪／名古屋／福岡

開催時期	● 2020年5月～2021年3月
開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡
参加料（消費税別）	● ①5,000円～15,000円（会員）　1回あたり ②10,000円～30,000円（会員外）　1回あたり ＊会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。

最新の行政動向、物流コスト調査等の研究成果や優れた企業事例等を紹介します。ロジスティクス・SCMの動向を把握し、課題解決のヒントを見い出します。

ロジスティクスシステム研究会（年間登録制）

開催地　東京

開催時期	● 2020年5月～2021年3月　（全11回）
開催場所	● 東京
参加料（消費税別）	● ① 110,000円（会員）　1名あたり ② 143,000円（会員外）　1名あたり

SCM＆物流に関わる様々な切り口（テーマ）から、製造業、流通業、物流子会社、3PL／物流業、サービス業等の研究会メンバーが自身の取組（事例）をベースに、問題・課題を提示し、メンバー同士が「三現主義」に基づくディスカッションを通して、解決のヒントを見出す機会を提供します。

食品ロジスティクス研究会（年間登録制）

開催地 東京

開催時期	● 2020年5月～2021年3月　（全10回）
開催場所	● 東京
参加料（消費税別）	● ① 100,000円（会員）　1名あたり ② 130,000円（会員外）1名あたり

加工食品メーカーのロジスティクス責任者による情報交流を目的とし、メンバー相互の事例発表、物流センター見学などを行います。

グローバルロジスティクス研究会（年間登録制）

開催地 東京／大阪／名古屋

開催時期	● 2020年10月～2021年3月　（全6回）
開催場所	● 東京、名古屋、大阪
参加料（消費税別）	● ①　60,000円（会員）　1名あたり ② 100,000円（会員外）1名あたり

荷主企業がかかえる国際物流の課題について、ゲスト講師による講演やディスカッション、メンバー事例発表および現地視察などを通じ、解決へのヒントを共有します。

物流子会社懇話会（年間登録制）

開催地 東京

開催時期	● 2020年4月～2021年3月　（全11回）
開催場所	● 東京
参加料（消費税別）	● ① 220,000円（会員）　1社(2名登録可) ② 350,000円（会員外）1社(2名登録可)

物流子会社、物流管理会社のトップマネジメントの方々が集い、自社、業界の経営全般に関する様々な問題や課題をとりあげ、その対策や解決方法についてメンバー相互の意見交換と積極的な情報交流、現地視察や外部講師の招聘等を行い、物流子会社、物流管理会社のあるべき方向を探っていきます。

関西ロジスティクス研究会（年間登録制）

開催地 大阪

開催時期	● 2020年5月～2021年3月　（全11回）
開催場所	● 大阪
参加料（消費税別）	● ① 75,000円（会員）　1名あたり ② 98,000円（会員外）1名あたり

最新ロジスティクス事情の収集や潮流、最新情報等の収集、現場見学、他業界・他企業との交流を目的とし、活発な討議により情報の共有化を促進します。

九州ロジスティクス活性化研究会（年間登録制）

開催地 福岡

開催時期	● 2020年6月～2021年3月　（全9回）
開催場所	● 福岡
参加料（消費税別）	● ① 50,000円（会員）　1名あたり ② 65,000円（会員外）1名あたり

九州・山口地域の会員による、事例交流や専門家による最新情報の解説などを通して、人脈形成と相互啓発を促進し、参加メンバーの課題解決を支援します。

国際物流総合展 2021　LOGIS-TECH-TOKYO 2021

開催概要

目的　内外の最新物流機器・システム・情報等のソフトとハードを一堂に結集し、交易振興・技術の向上・情報の提供・人的交流等を促進することを目的とする。

会場　東京ビッグサイト　西・南展示棟

会期　2021年1月26日(火)～29日(金)
10:00～17:00(予定)

出展料（消費税別）
主催団体会員　1小間目　：370,000円
　　2小間目以降：320,000円
会員外　1小間目　：440,000円
　　2小間目以降：380,000円

展示予定規模　500社／1,700小間

入場登録料（消費税込）　3,000円（ただし招待状・事前登録証持参者は無料）

来場予定者　65,000名
全産業の経営トップ、経営企画・戦略部門、SCM部門、ロジスティクス部門、物流・流通管理部門、調達・購買部門、生産管理・生産技術部門、情報システム部門、企画・販売部門、マーケティング・調査、行政機関・団体、学校関係者、学生等

物流改善事例から学ぶ

＊全日本物流改善事例大会、関西物流改善事例発表会、中部物流改善事例発表会、九州物流改善事例発表会は、有資格者優待の対象です。

全日本物流改善事例大会　2020

開催地　東京

開催時期	● 2020年5月12日（火）・13日（水）
開催場所	● 東京
参加料（消費税別）	● ①34,000円（会員） ②56,000円（会員外） ③25,000円（有資格者優待）

物流の現場において合理化の成果をあげている優れた改善事例をご発表いただき、実務担当者が各々の現場の課題解決の手がかりやノウハウを共有し合うことで、視野を広げ、今後の物流改善活動の推進に役立つことをねらいとしています。

関西物流改善事例発表会　2020

開催地　大阪

開催時期	● 2020年10月（1日）
開催場所	● 大阪
参加料（消費税別）	● ①15,000円（会員） ②23,000円（会員外） ③10,000円（有資格者優待）

主に関西地域の物流現場における改善事例をご発表いただき、その手法やノウハウを共有することで、さらなる物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。

中部物流改善事例発表会　2020

開催地　名古屋

開催時期	● 2020年11月（1日）
開催場所	● 名古屋
参加料（消費税別）	● ① 8,000円（会員） ②12,000円（会員外）

主に中部地域の物流現場における改善事例をご発表いただき、その手法やノウハウを共有することで、さらなる物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。

九州物流改善事例発表会　2020

開催地　福岡

開催時期	● 2020年11月（1日）
開催場所	● 福岡
参加料（消費税別）	● ① 7,000円（会員） ②10,000円（会員外） ③ 5,000円（有資格者優待）

主に九州・山口地域の物流現場における改善事例をご発表いただき、その手法やノウハウを共有することで、さらなる物流合理化活動の推進に役立つことをねらいとしています。

物流合理化賞

【2019年度 物流合理化賞】

・高齢社員・女性社員目線で取り組んだ職場改善
　～「楽しく、長く働きたい」が聞きたくて！～
　株式会社デンソーロジテム

・ＩＣＴ活用による物流センター出荷作業の同期化
　ＴＯＴＯ株式会社

全日本物流改善事例大会にて発表された改善事例の中から、特に優れた内容と成果が認められた改善事例に対して「物流合理化賞」、「物流合理化努力賞」を贈り表彰しています。

物流施設を見学して学ぶ

＊物流施設の見学を通して、最新の物流技術、物流現場の運営方法等を研究します。

物流テクノロジー現地フォーラム　2020

開催地　東京／大阪

東京開催	● 2020年5月～2021年3月
	● 期間中に9回
	● ①165,000円（会員）（消費税別） ②195,000円（会員外）（消費税別）
大阪開催	● 2020年7月～2021年3月
	● 期間中に7回
	● ①126,000円（会員）（消費税別） ②162,000円（会員外）（消費税別）

技術革新の著しい物流テクノロジー、効率的な運営を行っている物流現場に焦点をあて、現地研修ならびに施設見学を通して、最新の物流技術、物流現場の運営方法等を研究します。

現場研究会

開催地　東京／大阪／名古屋／福岡

開催時期	● 2020年9月～2021年3月
開催場所	● 東京、大阪、名古屋、福岡
参加料（消費税別）	● ①5,000円～15,000円（会員）　1回あたり ②10,000円～30,000円（会員外）1回あたり ＊会合によって異なりますので、詳細は各会合の案内にてご確認ください。

先端設備・技術や巧みな運用で効率を上げている物流施設を見学するとともに、訪問先担当者との情報交流をはかります。

最新の調査結果より学ぶ

JILSは、多元化するロジスティクスの諸問題について、調査分析・研究開発を行うとともに、経営支援活動やデータベースの構築をとおして、的確な情報発信を行い、あわせて、時代をリードする提言の実施や問題解決のグランドデザインを提供すること等を目標にしています。

【主要調査】

物流コスト調査 物流コストのデータ、算定方法、コスト適正化策実施状況
物流システム機器生産出荷統計 物流システム機器（マテハン機器）の出荷金額、出荷数量等の統計
ロジスティクスKPI調査 ロジスティクスの標準的な評価指標体系、ベンチマーク

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 入会のご案内

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会はロジスティクスシステムの高度化と普及推進を使命とし、あらゆる業種からの947社（2019年10月現在）の会員により組織・運営されております。会員には様々な特典が用意されております。是非この機会にご入会いただき、貴社のロジスティクス高度化のためにご活用ください。

会員特典

1）テーマ別研究会・現場研究会への参加（実費）
2）機関誌『ロジスティクスシステム』の無料配布（年間4号発行予定）
3）各種情報サービス
4）当協会主催展示会の入場券無料配布
5）事業利用上の特典
　①セミナー、フォーラム、大会等の参加料割引
　②資格認定講座の受講料割引
　③当協会主催展示会の出展料の割引
　④講師派遣、企業内教育の支援
　⑤コンサルティング、診断の相談

・入会は随時受け付けております。当協会の趣旨にご賛同の法人であれば所定の手続きを経て、ご入会いただけます。
・入会金：1万円（初年度のみ）　・年会費：12万円（1口につき）　＊年度途中のご入会の場合は、月割計算いたします。

パンフレット送付依頼フォーム

この『人材育成支援ガイド2020』に記載されている資格認定講座、セミナー、各種催し等に関する、詳細パンフレットをご送付いたしますので、下記の送付依頼フォームに必要事項をご記入の上、E-mailまたはFAXにて、事務局までご請求ください。
各パンフレットとも、開催日の1ヵ月前までには、郵送させていただきます。

【お問い合わせ先】 公益社団法人　日本ロジスティクスシステム協会

本　部	〒105-0022 東京都港区海岸1-15-1　スズエベイディアム3F ＴＥＬ 03-3436-3191　ＦＡＸ 03-3436-3190 担当：業務管理部（shien@logistics.or.jp）
関西支部	〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22　ハービスENTオフィスタワー19F ＴＥＬ 06-4797-2070　ＦＡＸ 06-4797-2071 担当：大西（kansai@logistics.or.jp）
中部支部	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南4-12-17 ＴＥＬ 052-588-3011　ＦＡＸ 052-588-3012 担当：大川（chubu@logistics.or.jp）

ご送付先

所　在　地	〒		
お会社名			
ご　所　属			
お　役　職			
ふりがな		電　話	ＦＡＸ
お　名　前			
E-mail			

プログラム名 （資格認定講座名・セミナー名など）	受講希望場所 ※○印をご記入ください	備　考　欄
	（　　）東京 （　　）大阪 （　　）名古屋 （　　）福岡	
	（　　）東京 （　　）大阪 （　　）名古屋 （　　）福岡	
	（　　）東京 （　　）大阪 （　　）名古屋 （　　）福岡	
	（　　）東京 （　　）大阪 （　　）名古屋 （　　）福岡	

● このパンフレット送付依頼フォームは申込書ではございません。
お申し込みには各プログラムの詳細パンフレットをご利用くださいますようお願いいたします。

個人情報のお取扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー（https://www1.logistics.or.jp/privacy.html）をご覧ください。

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会（https://www1.logistics.or.jp）